

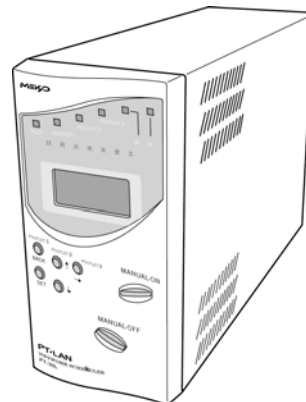
NETWORK SCHEDULER

PT-LAN

PT-30L

■ 取扱説明書 ■

第 1.0 版



明京電機株式会社

ご購入ありがとうございます。

ネットワーク スケジューラ PT・LAN PT-30L をご購入いただき誠にありがとうございます。ネットワーク スケジューラ PT・LAN PT-30L はネットワーク経由、年間スケジュールで制御／管理をする電源制御装置です。3 個の 100VAC 電源を個別に制御／管理でき、またケーブル接続された無停電電源装置をネットワーク経由で管理することもできます。ネットワーク スケジューラ PT・LAN PT-30L が皆様のネットワークシステムにおいて、有効かつ有用なツールとして機能することを願っております。

このマニュアルを必ずお読みください。

本書はセットアップ手順と、操作、設置、安全確保などのための手順が記載されています。ご使用前に、必ず本書をお読みください。お読み終わった後も大切に保管してください。

付属品一覧

本製品には次の付属品が同梱されています。必ずご確認ください。

1. 取扱説明書	・・・・・・・・・・・・・・・・	1 部
2. CD-ROM	・・・・・・・・・・・・・・・・	1 枚
(内 容)	・ ユーザーズ・マニュアル (PDF ファイル)	
	・ MRC-UTILITY	
	・ RPC コンダクタ	
	・ MRC-SHUTDOWN	
	・ Acrobat Reader	
3. 保証書	・・・・・・・・・・・・・・・・	1 部
4. RS232C (クロス) ケーブル	・・・・・・・・・・・・・・・・	1 本
5. 2P/3P 変換コネクタ	・・・・・・・・・・・・・・・・	1 個

安全上のご注意

この取扱説明書での表示では、本装置を安全に正しくお使いいただくために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は以下のようになっています。本文をよくお読みいただき、内容をよくご理解の上、正しくご使用ください。

注意喚起シンボルとシグナル表示の例

 警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、及び物的損害*の発生が想定される内容を示しています。

※物的損害とは家屋家財および家畜ペットにかかわる拡大損害を示します。

図記号の例

 分解・改造禁止	⊘は、禁止（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は⊘の中や近くに絵や文章で示します。 左図の場合は「分解・改造の禁止」を示します。
 電源プラグを抜く	●は、強制（必ずすること）を示します。 具体的な強制内容は、●の中や近くに絵や文章で示します。 左図の場合は「差し込みプラグをコンセントから抜くこと」を示します。



●万が一異常が発生したら、電源プラグをすぐに抜く！

煙、変な音、においがするなど、異常状態のまま使用しないでください。火災や感電の原因となります。このようなときは、すぐに電源プラグを抜いてお買い上げの販売店や弊社にお問い合わせください。



電源プラグを抜く

●AC100V（50または60Hz）以外の電源電圧では使用しない

表示された電源電圧（交流100V）以外の電圧で使用しないでください。特に110Vを越える電圧では製品を破壊するおそれがあり、火災の原因となりますので、絶対に接続しないでください。



交流100V

●本装置の電源アースあるいはFG端子を接地する

本装置の電源プラグのアースあるいはFG端子を接地してください。感電や故障の原因となります。



アース接地

●本装置背面のACコンセントは15Aまで

本装置背面のACコンセントは、供給できる容量の合計は最大で15Aです。合計15Aを越えて使用しないでください。火災や故障の原因となります。



最大容量15Aまで

●たこ足配線をしない

本装置の電源は、家庭用電源コンセントから直接取ってください。本装置のACコンセントに、電源用テーブルタップなどを接続して使用しないでください。火災や故障の原因となります。



たこ足配線禁止

●電源コードを大切に

コードに重いものを載せたり、熱器具に近づけたりしないでください。コードが損傷し火災や感電、故障の原因となります。また、コードを加工したり無理に曲げたり引っ張ったりすることも、火災や感電の原因となるのでおやめください。コードが傷んだ場合はお買い上げの販売店、または弊社までご相談ください。



コードを乱暴に扱わない

●極めて高い信頼性や安全性が必要とされる機器に接続しない

本装置はパソコン及びパソコン周辺機器と接続する用途に設計されています。人命に直接関わる医療機器などの極めて高い信頼性または安全性が必要とされる機器には接続しないでください。



パソコン機器専用

注意

●ぬれた手で本装置や電源プラグにさわらない

ぬれた手で本装置の操作を行なわないでください。ぬれた手で電源プラグを抜いたり、差し込んだりしないでください。感電の原因となることがあります。



ぬれた手でさわらない

●本装置の上や近くに水などの液体を置かない

本装置に水などの液体が入った場合、火災、感電、故障などの原因になります。



液体を近くに置かない

●異物を入れない

製品の通気孔などに、金属類や燃えやすいものが入ると、火災や感電の原因となります。万一異物が入った場合はすぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店、または弊社までご相談ください。



内部に異物を入れない

●ヘアースプレーなどの可燃物を本装置の上や近くに置いたり、使用したりしない スイッチの火花などで引火して火災の原因になることがあります。



可燃物禁止

●雷が鳴り出したら製品や電源プラグに触れない

感電の原因となります。本装置には、落雷用保護回路がありますが、F G端子を接地して、アースされた状態でないと十分な効果を発揮しませんのでご注意ください。



雷のときは、触らない

●分解したり改造したりしない

内部には電圧の高い部分がありますので、カバーをはずして内部の部品に触ったり、製品を改造したりしないでください。火災や感電、故障の原因となります。



分解・改造禁止

●製品を落したりして破損した場合は

そのまま使用すると火災や感電、故障の原因となります。電源プラグをコンセントから抜き、背面のコネクタをすべて抜いて、お買い上げの販売店、または弊社までお問い合わせください。



電源プラグを抜く

注意

●電源プラグを抜くときは電源コードを引っ張らない

電源プラグを抜くときは必ずプラグを持って抜いてください。
コードを引っ張って抜くと傷がつき、火災や感電の原因となることがあります。



コードを引っ張らない

●通気孔をふさがない

製品には、内部の温度上昇を防ぐために通気孔が開けられています。壁際への設置は、通気孔から5 cm以上離してください。通気孔から5 cm以内に、物などを置かないでください。内部に熱がこもり、やけどや火災の原因となることがあります。



通気孔をふさがない

●風通しの悪いところに置かない

製品を密閉された場所に置かないでください。熱がこもり、やけどや火災、故障の原因となることがあります。



風通しの悪い場所禁止

●温度が高くなるところに置かない

直射日光の当たるところや熱器具の近くなど、高温になるところに置かないでください。やけどや火災、故障の原因となることがあります。



温度が高い場所禁止

●お手入れのときは

本装置の本体が汚れた場合は、柔らかい布に水または中性洗剤を含ませ、よく絞ってから軽く拭いてください（絶対に、電源プラグやコネクタなどの接続部をこの方法で拭かないでください）。薬品類（ベンジン・シンナーなど）は使わないでください。変質・変色する場合があります。本体に接続されている電源プラグやコネクタなどの接続部のお手入れは、電源プラグやコネクタを抜いて、機器を傷つけないよう軽く乾拭きしてください。いずれの場合も、必ず本装置の電源プラグをコンセントから抜き、本装置に接続されている電源プラグやコネクタ類も全て抜いてから行なってください。感電や故障の原因となることがあります。



電源プラグを抜く

●湿気やほこりの多いところに置かない

湿気やほこりの多い場所や調理台、加湿器の近くなど、油煙や湯気があたるような場所に置かないでください。火災や感電の原因となることがあります。



湿気・ほこり禁止

●逆さまに設置しない

本装置を逆さまに設置しないでください。また、布等でくるんだ状態での使用もおやめください。特に、ビニールやゴム製品が接触している状態での使用はおやめください。火災や故障の原因となることがあります。



逆さま禁止

●電源プラグとコンセントの定期点検を

電源プラグとコンセントは長時間つないだまましていると、ほこりやちりがたまり、そのままの状態で使用を続けると、火災や感電の原因となることがあります。定期的な清掃をし、接触不良などを点検してください。



定期点検

●本装置は日本国内のみで使用

国外での使用は、電源電圧などの問題により、本装置が故障することがあります。



国内のみ使用

●不安定な場所やお子様の手の届く所には置かない

ぐらついた台や本装置より面積が小さいものの上や傾いた所、また衝撃や振動の加わる所など、不安定な場所やお子様の手の届く所に置かないでください。落ちたり倒れたりしてけがや故障の原因となります。



不安定な場所禁止

●ラジオやテレビなどのすぐ近くに置かない

ラジオやテレビなどのすぐ近くに置きますと受信障害を与えることがあります。



ラジオ、テレビ
の近く禁止

●データの保存について

データの通信を行なう際には、あらかじめデータのバックアップを取るなどの処置を行なってください。回線や本装置の障害によりデータを消失するおそれがあります。



バックアップ

●花びんやコップ、植木鉢、小さな金属物などを本装置の上に置かない

内部に水や異物が入ると、火災や感電の原因となります。万一、水などが内部に入ったときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜いてください。



上にものを置かない

●踏み台にしない

本装置の上に乗らないでください。
倒れたりしてけがや故障の原因となることがあります。



踏み台禁止

目 次

第1章 はじめに	10
1. 機能概要	
2. 各部の名称と機能	
3. DIP スイッチの設定	
4. LED 表示について	
5. 液晶表示について	
6. 接続可能な無停電電源装置 (UPS)	
第2章 初期設定 (MRC-UTILITY による設定)	16
1. ユーティリティの起動	
2. 基本設定 1 の内容入力	
3. 基本設定 2 の内容入力	
4. 詳細の内容入力	
5. 電源制御	
6. MAIL 設定	
7. 監視	
第3章 デバイスの制御	30
1. RPC コンダクタの設定	
2. 状態監視	
3. 電源制御	
4. 電源設定	
5. 電源詳細	
6. 通信	
7. 基本	
8. メール	
9. PING	
10. WOL	
11. スケジュール	
12. 装置情報	
13. スケジュールの送信	
第4章 他の制御方法	44
1. TELNET 接続による制御	
2. TELNET 接続によるバージョンアップ	
3. コマンドライン一覧	
4. パソコンモードでの制御	
5. モデムモードでの制御	

第5章	フロントパネルの操作	58
	1. 電源制御	
	2. 各種設定	
第6章	シャットダウン	62
	1. パソコンの接続	
	2. パソコンの設定	
第7章	無停電電源装置（UPS）との連携	68
	1. 初期設定	
	2. 本機と無停電電源装置（UPS）の接続	
第8章	仕様	72
	■ レジスター一覧	
	■ マニュアル設定表示一覧	
	■ タイムチャート	
	■ 仕様一覧	

第 1 章

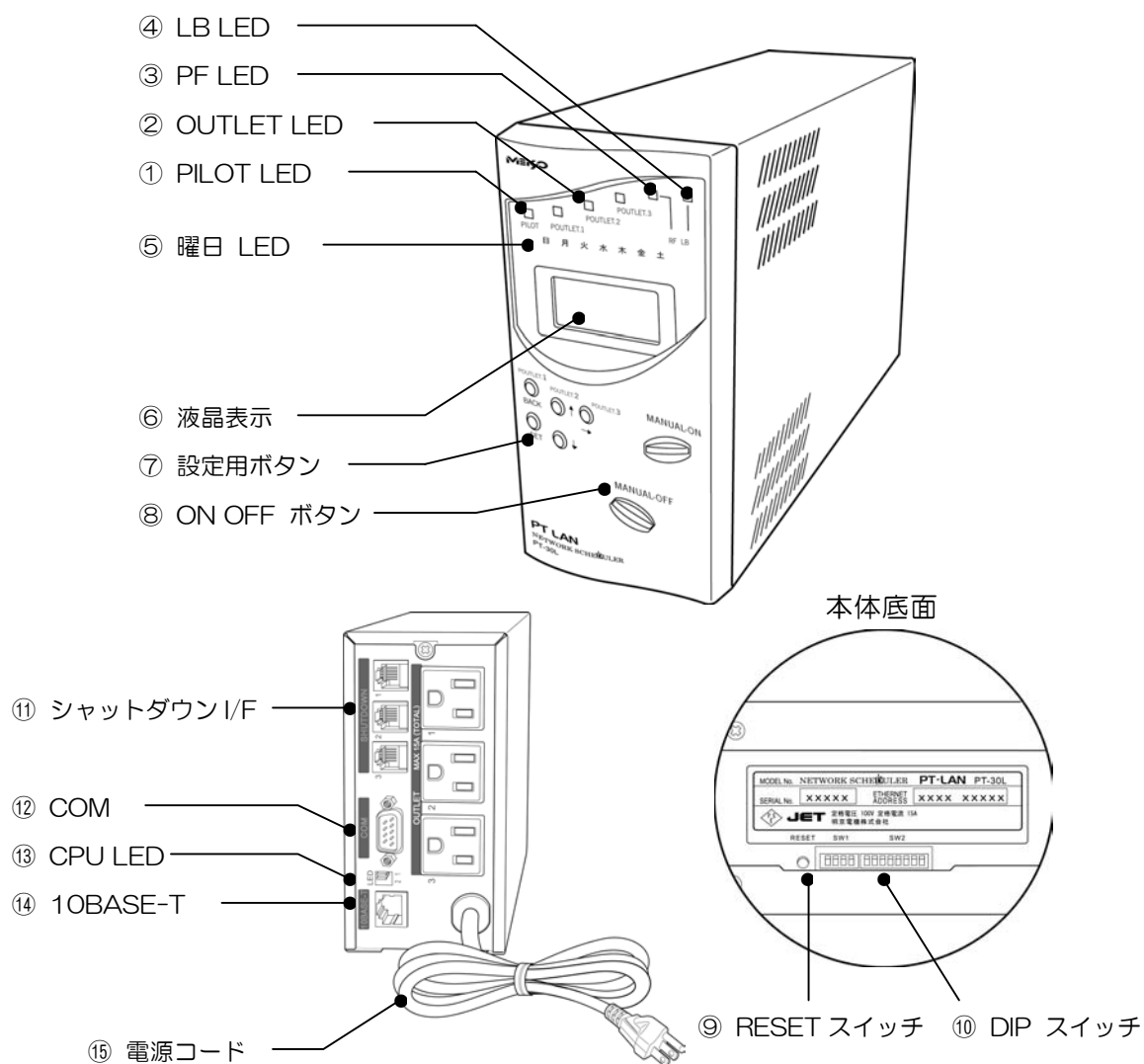
はじめに

1. 機能概要

本機には以下の機能があります。

- 1) 遠隔電源制御
 - ・RPC コンダクタを利用して LAN からの遠隔電源制御
 - ・TELNET サーバプログラムを利用したの遠隔電源制御
- 2) 個別電源制御
 - ・3 個の 100VAC 電源を個別に制御
- 3) 手動電源制御
 - ・上記と併用して前面パネルより手動で電源制御
- 4) シャットダウン機能
 - ・シャットダウン信号の送出によるデバイスの OS 正常終了
- 5) OUTLET タイマー機能
 - ・ON 遅延時間、シャットダウン時間、リセット時間、OFF 遅延時間の設定による各電源の動作制御
- 6) スケジュール機能
 - ・MAX200 件のメモリーで年間スケジュールに対応
 - ・日付、曜日または毎日指定でスケジュール設定
- 7) 一元管理機能
 - ・RPC コンダクタによる複数 PT-30L（また LT-3000）の一元管理
- 8) PING 監視機能（死活監視機能）と自動電源制御
 - ・PING による各デバイスの死活監視
 - ・死活の判断基準を各デバイスに合せて任意設定可能
 - ・死活判定後、自動で電源制御
- 9) パケットスニフアー機能（IP パケットの監視機能）
 - ・特定アドレスから IP パケットの有無を監視
 - ・一定時間パケットがない場合に自動リブート
- 10) メール機能
 - ・電源の動作を自動でメール配信
- 11) Wakeup 機能
 - ・MAGIC PACKET による Wake ON LAN 対応デバイスのブートアップ
 - ・MAGIC PACKET による本機のブートアップ
 - ・仮想アウトレットへ MAGIC PACKET を送信
- 12) 無停電電源装置（UPS）との連携機能
 - ・UPS からの信号により、各デバイスへのシャットダウン信号送出
- 13) セキュリティ
 - ・パスワードの設定、変更によるアクセス制限
 - ・パスワードの入力猶予回数、待機時間によるセキュリティアップ
- 14) 遠隔アップデート機能
 - ・TELNET 接続によるファームウェアのアップデート

2. 各部の名称と機能



- | | |
|---------------|-----------------------------------|
| ① PILOT LED | 本体に電源が投入されている場合に点灯します。 |
| ② OUTLET LED | AC アウトレットの電源出力状態を表示します。 |
| ③ PF LED | 無停電電源装置（UPS）接続時の UPS の信号状態を表示します。 |
| ④ LB LED | 無停電電源装置（UPS）接続時の UPS の信号状態を表示します。 |
| ⑤ 曜日 LED | 本体内蔵の時計の曜日を表示します。 |
| ⑥ 液晶表示 | 現在時刻または設定内容を表示します。 |
| ⑦ 設定用ボタン | 各種設定時に使用します。 |
| ⑧ ON OFF ボタン | 手動で電源制御するときに使用します。 |
| ⑨ RESET スイッチ | スイッチ出力電源に影響を与えずに CPU を初期化します。 |
| ⑩ DIP スイッチ | 初期設定、本体設定に使用します。 |
| ⑪ シャットダウン I/F | 別売シャットダウンケーブル（XH-9609）を接続します。 |
| ⑫ COM | 初期設定用及び UPS やモデム接続用通信ポートとして使用します。 |
| ⑬ CPU LED | CPU の通信状態を表示します。 |
| ⑭ 10BASE-T | LAN ケーブル（8 ピン RJ45）を接続します。 |
| ⑮ 電源コード | 商用電源、UPS などに接続します。 |

3. DIP スイッチの設定

DIP スイッチの各機能

No.		状態	モード
SW.1	1	ON	UPS 接続モード UPS を接続して利用する場合のモードです。 「基本設定2」で UPS 接続にチェックをいれます。 詳しくは「第7章 無停電電源装置（UPS）との連携」を参照ください。
		OFF	UPS 未接続モード UPS を接続しないで利用する場合のモードです。 「基本設定2」で UPS 接続にチェックをいれません。
	2	ON	モデムモード COM にモデムを接続して使用する場合のモードです。 詳しくは「第4章他の制御方法 5.モデムからの制御」を参照ください。
		OFF	パソコンモード COM にパソコンを接続して使用する場合のモードです。 詳しくは「第4章 他の制御方法 4.パソコンからの制御」を参照ください。
	3	ON	常に OFF「運転モード」としてください。
		OFF	運転モード
	4	未使用	常に OFF
SW.2	1	未使用	常に OFF
	2	未使用	常に OFF
	3	未使用	常に OFF
	4	未使用	常に OFF
	5	未使用	常に OFF
	6	未使用	常に OFF
	7	ON	ブザー無し
		OFF	ブザー有り
	8	ON	フロントパネルの押しボタンを無効にする
		OFF	フロントパネルの押しボタンを有効にする

注 意

DIP スイッチを操作するときは、本体の AC アウトレットから全ての電源プラグを取り外してください。設定後は、必ず、本体底面の RESET スイッチを押してください。誤動作する恐れがあります。

4. LED 表示について

1) CPU LED

CPU の通信状態を表示します。

NO	用途	状態	表示
1	TCP/IP 通信状態	パケット受信時	点灯
		パケット未受信時	消灯
2	リンク状態	正常、ケーブル接続	点灯
		異常時またはケーブル未接続	点滅

2) PILOT LED

本体に電源投入されている場合に表示します。

点灯・・・正常通電時

点滅・・・停電などにより、本機への電源供給が一旦中断されると点滅します。

点滅を解除するには、本体前面の「SET」ボタンを押します。

3) OUTLET LED

AC アウトレットの電源出力状態を表示します。

点灯・・・電源 ON

点滅・・・電源 OFF に移行時

消灯・・・電源 OFF

4) PF LED

無停電電源装置（UPS）接続時の UPS の状態を表示します。

点灯・・・電源障害信号発生時

消灯・・・UPS 正常運転

5) LB LED

無停電電源装置（UPS）接続時の UPS の状態を表示します。

点灯・・・バッテリー容量低下信号発生時

消灯・・・UPS 正常運転時

6) 曜日 LED

本体内蔵の時計の曜日表示します。

5. 液晶表示について

- 1) 通常時は時計を表示します。

04/01/01

w 01:23 (w は曜日を表示します。)

- 2) 各種設定時は設定項目等を表示します。

※詳しくは「第5章 フロントパネルの操作」または「第8章 仕様 ■マニュアル
設定表示一覧」参照。

6. 接続可能な無停電電源装置 (UPS)

接続可能な UPS は、WindowsNT、Windows2000、WindowsXP の標準 UPS サービスで動作するタイプのものです。また、UPS と接続するケーブルは、前述の標準 UPS サービス用のケーブル (UPS メーカー製専用ケーブル) になります。

第2章

初期設定

(MRC-UTILITY による設定)

1. ユーティリティの起動

設定前の確認

- 設定用 PC と本機を付属の RS232C ケーブルで確実に接続してください。
- MRC-UTILITY を PC にインストールしてください。
インストール手順は添付 CD の readme.txt を参照してください。MRC-UTILITY は Windows9x/ME/NT/2000/XP 対応ソフトです。

- 1) 本体底面の DIP スイッチ 1 を全て OFF にします。
- 2) MRC-UTILITY を起動します。画面 1 が表示されます。

《 画面 1 》



- 3) パスワード（デフォルト：0000）を入力し、COM ポートを選択します。
- 4) 「接続」ボタンをクリックします。画面 2 が表示されます。
接続に失敗した場合は、本体底面の RESET スイッチを押して、再度実行してください。

《 画面 2 》



2. 基本設定 1 の内容入力

1) TCP/IP ネットワーク設定

本機のネットワークに関する設定をします。

・ IPアドレス	デフォルト：	192.168.10.1
・ サブネットマスク	デフォルト：	255.255.255.0
・ デフォルトルート	デフォルト：	192.168.10.2
・ TELNET Port	デフォルト：	23
・ TELNET 機能 ※1	デフォルト：	有効
・ COM 通信速度	デフォルト：	9600
・ 無通信タイマー ※2	デフォルト：	120（秒）
	設定可能値：	0～3600

※1) TELNET 機能 : TELNET サーバプログラムでの制御機能

※2) 無通信タイマー : TELNET 及びRPC コンダクタの自動切断時間

2) NTP 設定

NTP を利用する場合に設定してください。

① 「NTP 設定」 ボタンをクリックし、画面 3 を表示します。

《 画面 3 》

② NTP アドレスに NTP サーバの IP アドレスを入力します。

③ SNTP サーバを有効にします。

④ 「閉じる」ボタンをクリックします。

3) 時刻設定

「時刻合せ」ボタンをクリックします。接続している PC の時刻に設定されます。

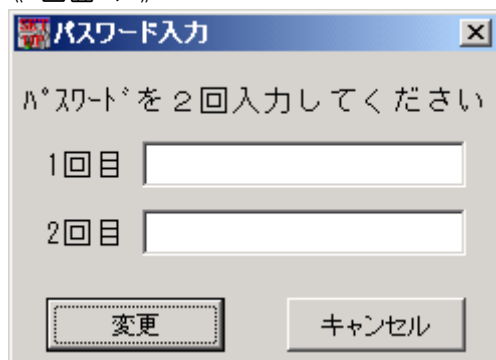
4) パスワード設定

パスワードは半角英数字 16 文字以内で設定できます。

デフォルト： 0000

①「パスワード変更」ボタンをクリックし、画面 4 を表示します。

《 画面 4 》



② 新しいパスワードを2回入力します。

③「変更」ボタンをクリックし、登録します。

5) セキュリティロック

パスワードを猶予回数間違えるとセキュリティロックがかかり、待機時間操作ができなくなります。デフォルト「0」はセキュリティロック無効です。

猶予回数	デフォルト	：	0
	設定可能値	：	0～255
待機時間（分）	デフォルト	：	0
	設定可能値	：	0～3600

6)「適用」ボタンをクリックします。

7)「設定初期化」ボタンは、全ての設定を工場出荷値に戻します。

8)「設定ファイル保存」ボタンは、現状の設定をファイルに保存します。

9)「設定ファイル読込」ボタンをクリックし、「設定ファイル保存」で保存したファイルを選択すると、その設定内容に変更することができます。

注 意

設定後は、必ず「適用」ボタンをクリックしてください。
「適用」ボタンのクリックがないと設定が反映されません。

3. 基本設定 2 の内容入力

1) 「基本設定 2」のタブをクリックします。画面 5 が表示されます。

《 画面 5 》

No	OFF遅延1	シャットダウン	リセット	ON遅延
1	0	0	8	0
2	0	0	8	0
3	0	0	8	0

2) OUTLET タイマー設定をします。

① OFF 遅延 1 （単位: 秒）

電源 OFF 命令後、シャットダウンに移行するまでの時間。

このタイマーの動作中は電源 ON 命令で、電源 OFF 動作をキャンセルできます。

デフォルト：0 設定可能値：0～3600

② シャットダウン （単位: 秒）

デバイスのシャットダウン完了まで電源 OFF を待機させる時間。

このタイマーの動作中は電源 OFF 動作をキャンセルできません。

デフォルト：0 設定可能値：0～3600

③ リセット （単位: 秒）

アウトレットに電源供給を停止してから電源 ON 動作開始までの時間。

デフォルト：8 設定可能値：0～3600

④ ON 遅延 （単位: 秒）

電源 ON 命令後、アウトレットに電源供給を開始するまでの時間。

デフォルト：0 設定可能値：0～3600

⑤ UPS 接続

UPS と連携してお使いのときは、「UPS 接続」にチェックを入れます。

※詳しくは「第 7 章 無停電電源装置（UPS）との連携」参照。

3) 本機の構成を設定します。

電源障害信号の極性を選択します。

シャットダウン機能をご利用する場合に必要です。シャットダウンをさせる接続機器（パソコンなど）の信号極性と本機の信号極性を合わせます。パソコンのシャットダウン設定は「第 6 章シャットダウン」を参照してください。

デフォルト：負

4) 常時 ON モードは電源 ON (PON) とリブート (POR) のみ有効となるモードです。
必要があればチェックをいれます。

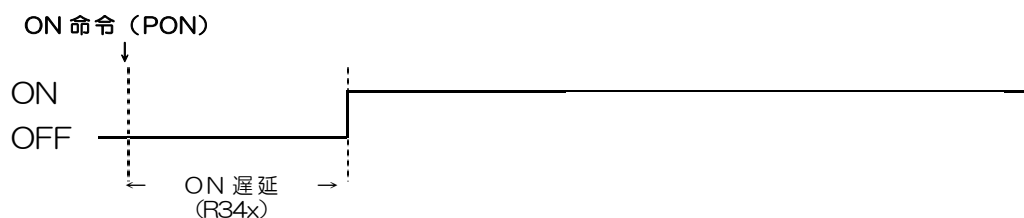
5) 「適用」 ボタンをクリックします。

注 意

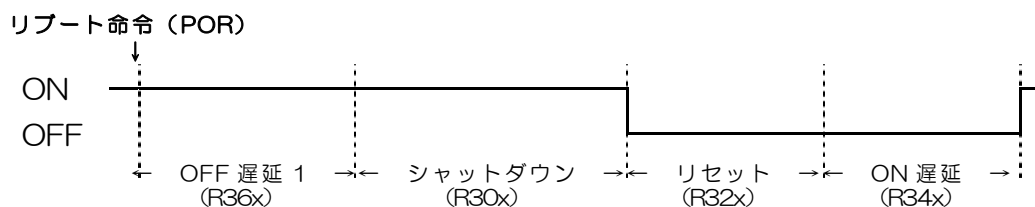
設定後は、必ず「適用」 ボタンをクリックしてください。
「適用」 ボタンのクリックがないと設定が反映されません。

■動作タイムチャート

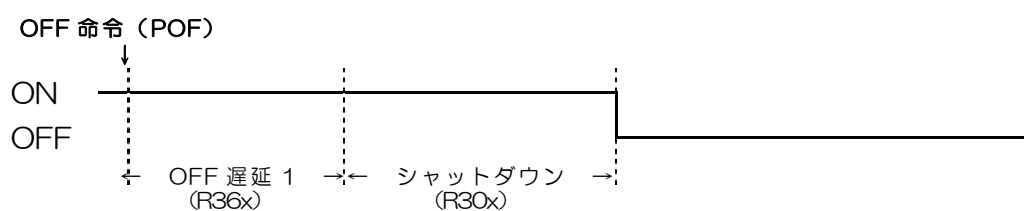
電源 ON 動作



リブート動作



電源 OFF 動作



4. 詳細の内容入力

1) 「詳細」のタブをクリックします。画面 7 が表示されます。

《 画面 7 》

Ch	監視IPアドレス	回数	条件	応答時間	動作
1	0.0.0.0	4	0	2	POR
2	0.0.0.0	4	0	2	POR
3	0.0.0.0	4	0	2	POR

PING送信間隔: 1 ※PING送信間隔:分/応答時間:秒

No.	MAC アドレス	送信回数	送信間隔
1	00:00:00:00:00:00	5	10
2	00:00:00:00:00:00	5	10
3	00:00:00:00:00:00	5	10

※送信間隔:秒

実行回数	待機回数
0	0
0	0
0	0

基本設定1 基本設定2 詳細 電源制御 MAIL設定 監視

Copyright 2004 MEIKYO ELECTRIC CO.,LTD

適用 終了

2) PING 監視の設定をします。

PING 監視機能について

監視 IP アドレスに対し、設定した時間（デフォルト：1 分）間隔で PING を実行し続けます。PING の応答が（待機）条件の設定回数内で（待機）回数ない場合に異常と判断し、設定された動作を実行します。

① 監視 IP アドレス

監視するデバイスの欄にその IP アドレスを入力します。入力されたアドレスに対して、状態確認の PING を実行します。

② 待機回数

状態異常を判定する PING 無応答の回数を設定します。

デフォルト : 4

設定可能値 : 1 ~255

③ 待機条件

待機回数の判定範囲を PING 実行回数で設定します。

デフォルト : 0

PING の応答が待機回数連続してない場合に異常と判定します。

設定可能値 : 1~255

PING の応答が待機条件で設定した回数内で待機回数ない場合に異常と判定します。

④ 応答待機時間

PING 実行から応答を判断するまでの待機時間を設定します。設定された時間内に PING の応答があった場合は応答、無い場合は無応答と判断します。

※ PING の送信間隔より短い時間を設定します。

デフォルト : 2 (秒)
設定可能値 : 1 ~3600

⑤ 動作

異常と判定した時の動作を選択します。

⑥ PING 送信間隔

PING の送信する間隔を設定します。

※応答待機時間より長い時間を設定します。

デフォルト : 1 (分)
設定可能値 : 1 ~255

3) リポート回数の設定をします。

この設定は PING 監視機能のリポート (POR) でデバイスが復帰しない場合に適用されます。半永久的にリポートが続くことを防止します。

① 実行回数

繰り返すリポートの回数を制限します。

デフォルト : 0 (制限適用無し)

② 待機回数

PING の無応答が設定された回数に連続して達した場合、リポートを実行します。

デフォルト : 0 (制限適用無し)

4) Wakeup の設定をします。

Wakeup 機能について

電源出力開始と同時に MAGIC PACKET を送信し、Wakeup ON LAN 対応機器をブートアップさせます。

① 「Wake ON LAN を利用する」にチェックを入れます。

② MAC アドレス

ブートアップさせるデバイスの MAC アドレスを入力します。

③ 送信回数

MAGIC PACKET の送信回数を入力します。

デフォルト : 5
設定可能値 : 1 ~255

④ 送信間隔

MAGIC PACKET の送信間隔を入力します。

デフォルト : 10（秒）
設定可能値 : 1 ~255

5) 「適用」 ボタンをクリックします。

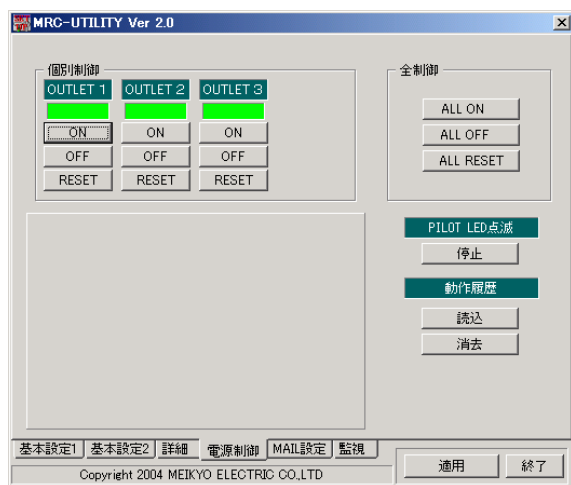
注 意

設定後は、必ず「適用」 ボタンをクリックしてください。
「適用」 ボタンのクリックがないと設定が反映されません。

5. 電源制御

1) 「電源制御」のタブをクリックします。画面 8 が表示されます。

《 画面 8 》



2) 制御するアウトレットのボタンをクリックします。

① 個別制御操作ボタンの動作

基本設定 2 で設定した OUTLET タイマーが反映されます。

ON	: 電源 ON 動作
OFF	: 電源 OFF 動作
RESET	: リポート動作

② 全制御操作ボタンの動作

各アウトレットの個別制御が一斉に開始されます。設定時間が同じアウトレットは若い番号が優先されて動作します。

③ 画面上のステータス表示

グリーン	: 電源 ON
イエロー	: OFF 遅延時間中
レッド	: シャットダウン中
グレー	: 電源 OFF

※ OFF 遅延時間中に「ON」ボタンをクリックすると電源 ON 状態戻りますが、シャットダウン中は電源 ON 状態に戻りません。

3) PILOT LED 点滅

「停止」 : 本体 PILOT LED の点滅を停止します。

4) 動作履歴

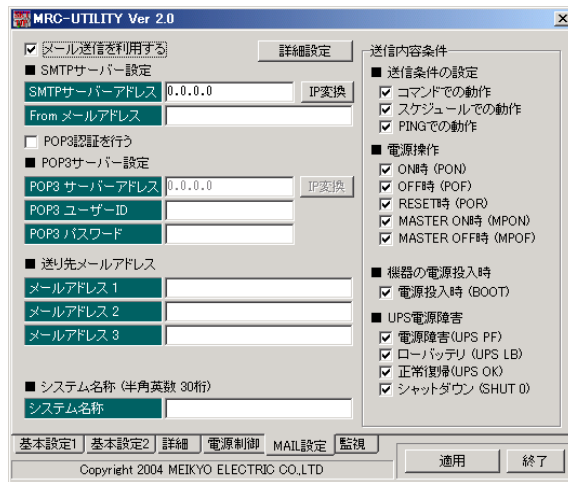
「読込」 : 左欄にログを表示します。

「消去」 : ログを消去します。

6. MAIL 設定

1) 「MAIL 設定」のタブをクリックします。画面 9 が表示されます。

《 画面 9 》



2) 「メール送信を利用する」にチェックを入れます。

3) SMTP サーバに関する設定をします。

- ・ SMTP サーバアドレス : インターネットに接続できる環境で、SMTP サーバアドレス欄に SMTP サーバ名称を入力し「IP 変換」ボタンをクリックすると、SMTP サーバアドレスに変換できます。
- ・ From メールアドレス

4) POP3 承認をしてメール送信する場合は、「POP3 承認を行う」にチェックし、POP サーバに関する設定をします。

- ・ POP3 サーバアドレス : インターネットに接続できる環境で、POP3 サーバアドレス欄に POP3 サーバ名称を入力して「IP 変換」ボタンをクリックすると、POP3 サーバアドレスに変換できます。
- ・ POP3 ユーザーID
- ・ POP3 パスワード

5) 送り先メールアドレスを設定します。
送り先は 4 ヶ所まで設定できますが、メールアドレス.1 は必ず設定してください。

6) システム名称を設定します。
半角英数字 30 文字以内で設定できます。メール送信者の欄に記入されます。

7) 送信内容条件を設定します。

① 送信条件の設定

基本的な条件を選択します。

コマンドでの動作	: コマンドライン入力または操作ボタンによる電源動作
スケジュールでの動作	: スケジュール機能による電源動作
PING での動作	: PING 監視機能による電源動作

② 送信項目の設定

電源操作や動作などの項目を選択します。

- | | |
|------------------------|----------------------|
| ・ ON 時 (PON) | ・ OFF 時 (POF) |
| ・ RESET (リブート) 時 (POR) | ・ MASTER ON 時 (MPON) |
| ・ MASTER OFF 時 (MPOF) | |

①と②で選択された条件で電源が動作したときにメールを送信します。

③ 本機の電源投入時

本機に電源が投入されたときにメールを送信します。

- ・ 電源投入時 (BOOT)

④ UPS 電源障害

UPS と連携してご使用の場合に選択します。選択された信号や動作が発生したときにメールを送信します。

- | | |
|----------------|--------------------|
| ・ 電源障害 (UPSPF) | ・ ローバッテリー (UPSLB) |
| ・ 正常復帰 (UPSOK) | ・ シャットダウン※ (SHUTO) |

※ UPS の信号によって発生するシャットダウンに限ります。

8) 詳細の設定をします。

必要があれば詳細設定をします。「詳細設定」ボタンをクリックします。

- ・ STMP ポート
- ・ STMP タイプ
- ・ POP3 ポート

- | | | |
|---------------|-------|-----------|
| ・ POP3 認証待ち時間 | デフォルト | : 0.3 (秒) |
| ・ メール送信間隔 (分) | デフォルト | : 1 (分) |

7. 監視

- 1) 「監視」のタブをクリックします。画面 10 が表示されます。

《 画面 10 》



- 2) MSRP 機能の有効/無効を選択します。
MSRP 機能は「RPC コンダクタ」へ本機情報を自動通知する機能です。
- 3) MSRP パケット送信先の IP アドレスを設定します。
RPC コンダクタを使用するパソコンの IP アドレスを設定します。
- 4) MSRP パケット送信先のポート番号を設定します。
RPC コンダクタに設定したポート番号を設定します。
- 5) MSRP パケット定期通知の送信間隔を設定します。
情報を通知する間隔を設定します。(単位: 秒)
- 6) 電源変化時の MSRP パケット送信回数を設定します。
電源変化時は、定期通知を待たず直ちに通知します。その時の通知回数を設定します。
- 7) 電源変化時の MSRP パケット送信間隔を設定します。
電源変化時の通知回数が 2 回以上ある場合に、各通知の通知間隔を設定します。

第3章

デバイスの制御

1. RPC コンダクタの設定

設定前の確認

- 設定用 PC と本機を LAN で確実に接続してください。
- RPC コンダクタを PC にインストールしてください。
- MSRP 機能を有効にし、必要な項目を設定してください。

MSRP 機能は「RPC コンダクタ」へ本機の情報を自動通知する機能です。

※詳しくは「第2章 初期設定 7. 監視」参照。

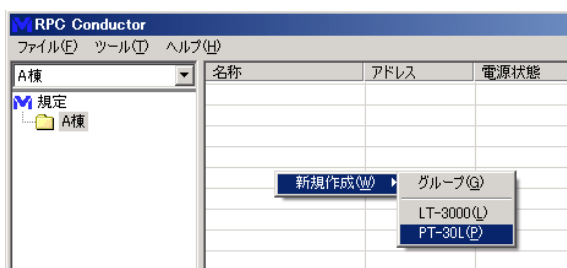
1) RPC コンダクタを起動します。

RPC コンダクタは Windows2000/XP 対応ソフトです。

2) 機器の登録

- ① マウスを右クリックし、新規作成のメニューから「グループ」を選択します。

《 図 11 》



- ② 場所の欄に「新しいグループ」が反転文字表示されますので、名前を入力します。

(例：A 棟)

- ③ 場所にできたグループ名 (例：A 棟) をダブルクリックします。

- ④ マウスを右クリックし、新規作成のメニューから「PT-300L」を選択します。

《 図 12 》



- ⑤ 名称の欄に「新規 PT-300L」が反転文字表示されますので、名前を判別し易いように書き換えます。(例：教室)

- ⑥ 名称に登録した機器を選択し、右クリックで「プロパティ」を選択します。

《 図 14 》



- ⑦ 選択した機器のプロパティを設定します。

《 図 15 》



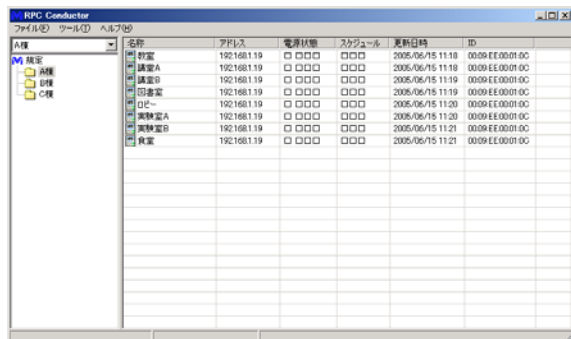
- パスワード : 機器に設定したパスワードを登録します。
- プロンプトおよび機器選択番号 : 変更不要（拡張性のための設定です。）
- IP アドレス : PT-30L の IP アドレスを設定します。
- ポート番号 : PT-30L のポート番号を設定します。
- MAC アドレス : PT-30L の MAC アドレスを設定します。
- IP アドレスを設定し本機と接続すれば自動取得できます。

※ RPC コンダクタは MAC アドレスにより各機器からの情報を識別しています。IP アドレスやポート番号は、各機器に直接接続して制御する場合に必要です。

2. 状態監視

「場所」にできたグループ名（例：A 棟）をダブルクリックします。図 16 が表示されます。グループ名（例：A 棟）に登録した機器が一括で状態監視できます。

《 図 16 》

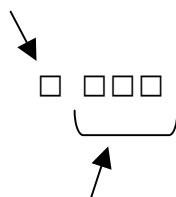


The screenshot shows the 'RPC Conductor' application window. On the left, a tree view shows 'A 棟' selected under 'ファイル名' and 'グループ'. The main area displays a table with the following columns: 名称 (Name), アドレス (Address), 電源状態 (Power Status), スケジュール (Schedule), 更新日時 (Update Date), and ID. The table contains data for various rooms in Group A.

名称	アドレス	電源状態	スケジュール	更新日時	ID
教室	192.168.1.19	□ □ □ □	□ □ □	2005/06/15 11:18	0009EE000100
講義室A	192.168.1.19	□ □ □ □	□ □ □	2005/06/15 11:18	0009EE000100
講義室B	192.168.1.19	□ □ □ □	□ □ □	2005/06/15 11:19	0009EE000100
図書室	192.168.1.19	□ □ □ □	□ □ □	2005/06/15 11:19	0009EE000100
ロビー	192.168.1.19	□ □ □ □	□ □ □	2005/06/15 11:20	0009EE000100
実験室A	192.168.1.19	□ □ □ □	□ □ □	2005/06/15 11:20	0009EE000100
実験室B	192.168.1.19	□ □ □ □	□ □ □	2005/06/15 11:21	0009EE000100
倉庫	192.168.1.19	□ □ □ □	□ □ □	2005/06/15 11:21	0009EE000100

1) 電源状態

マスター電源の状態（ON/OFF）が表示されます。



アウトレット 1～3 の電源の状態（ON/OFF）が表示されます。

- : ON
- : OFF

2) スケジュール

アウトレット 1～3 のスケジュール機能の ON/OFF が表示されます。

- : ON
- : OFF

3) 更新日時

最新の更新日時が表示されます。

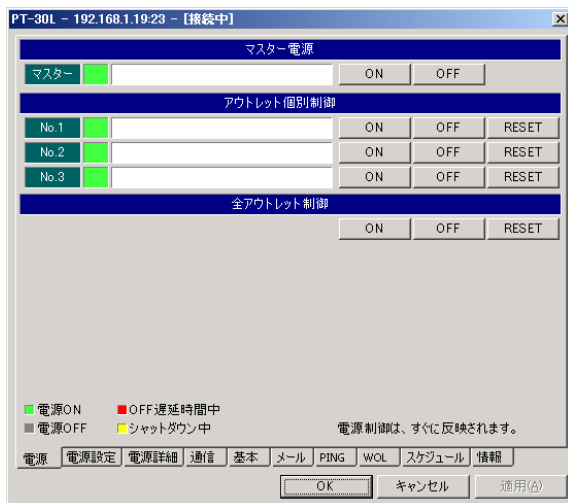
4) ID

各機器の MAC アドレスが表示されます。

3. 電源制御

- 1) 図 16 で電源の制御をする機器を選択して右クリックし、開くを選択します。
図 17 が表示されます。

《 図 17 》



- 2) 制御するボタンをクリックします。

① マスター電源

マスター電源は、本機の機能停止と開始を制御します。

■ボタンの内容と動作

- ON : 全アウトレット制御の電源 ON 動作後、電源制御機能開始
OFF : 全アウトレット制御の電源 OFF 動作後、電源制御機能停止

② アウトレット個別制御

制御するアウトレットのボタンをクリックします。

設定した OUTLET タイマーが反映されます。

■ボタンの動作

- ON : 電源 ON 動作 RESET : リブート動作
OFF : 電源 OFF 動作

③ 全アウトレット制御ボタンの動作

各アウトレットの個別制御が一斉に開始されます。設定時間が同じアウトレットは若い番号が優先されて動作します。

④ 画面上のステータス表示

■各色の動作内容

- グリーン : 電源 ON イエロー : OFF 遅延時間中
グレー : 電源 OFF レッド : シャットダウン中

4. 電源設定

1) 「電源設定」のタブをクリックします。図 18 が表示されます。

《 図 18 》

No	OFF遅延1	シャットダウン	リセット	ON遅延
1	0	0	8	0
2	0	0	8	0
3	0	0	8	0

出力信号の極性
電源障害(E) ☒ 正 ☐ 負
電池容量低下(L) ☒ 正 ☐ 負
☐ 電源障害時に容量低下信号も出力(E)

無停電電源装置(UPS)の信号極性
電源障害(E) ☒ 正 ☐ 負
電池容量低下(L) ☒ 正 ☐ 負
UPSシャットダウン(U) ☒ 正 ☐ 負

コマンド
← OFF遅延1 → ← シャットダウン → ← リセット時間 → ← ON遅延 →

① UPS 連携機能

現在の設定：本機底面の DIP スイッチの UPS モードの ON/OFF 表示

② OFF 遅延 1（単位：秒）

③ シャットダウン（単位：秒）

④ リセット（単位：秒）

⑤ ON 遅延

⑥ 出力信号の極性

⑦ 無停電電源装置（UPS）の信号極性

すべて「第 2 章 初期設定 3. 基本設定 2 の内容入力」での設定が反映されます。

5. 電源詳細

1) 「電源詳細」のタブをクリックします。図 20 が表示されます。

《 図 20 》

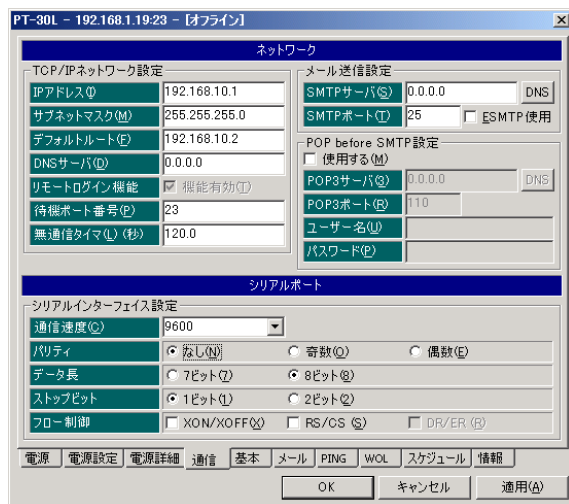
The screenshot shows a window titled "PT-30L - 192.168.1.19:23 - [オフライン]". The window has a tabbed interface with the following tabs: 電源 (Power), 電源設定 (Power Settings), 電源詳細 (Power Details - selected), 通信 (Communication), 基本 (Basic), メール (Mail), PING, WOL, スケジュール (Schedule), and 情報 (Info). The "電源詳細" tab is active and contains two sections: "システム情報" (System Information) and "アウトレット情報" (Outlet Information). The "システム情報" section has three input fields: "システム名称" (System Name), "システム設置場所" (System Installation Location), and "コンタクト" (Contact). The "アウトレット情報" section has three input fields labeled "No.1", "No.2", and "No.3". At the bottom of the window, there are three buttons: "OK", "キャンセル" (Cancel), and "適用(A)" (Apply).

- ① システム名称
「電源」タブのマスター電源の欄に反映します。
- ② システム設置場所
- ③ 連絡先
管理上必要な場合に入力します。
- ④ アウトレット情報
「電源」タブのアウトレット個別制御に反映します。

6. 通信

- 1) 「通信」のタブをクリックします。図 21 が表示されます。「第2章 初期設定」で設定した内容が表示されます。

《 図 21 》



① TCP/IP ネットワーク設定

- | | |
|--------------|--------------------------------------|
| ・ IP アドレス | デフォルト：192.168.10.1 |
| ・ サブネットマスク | デフォルト：255.255.255.0 |
| ・ デフォルトルート | デフォルト：192.168.10.2 |
| ・ DNS サーバ | デフォルト：0.0.0.0
(メールやNTP 接続で利用します。) |
| ・ リモートログイン機能 | デフォルト：有効 |
| ・ ポート番号 | デフォルト：23 |
| ・ 無通信タイマー | デフォルト：120 (秒) |

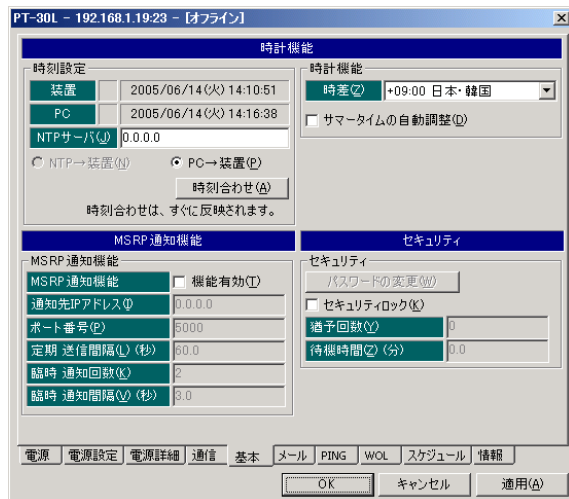
② シリアルインタフェース設定

- | | |
|-----------|------------|
| ・ 通信速度 | デフォルト：9600 |
| ・ パリティ | デフォルト：なし |
| ・ データ長 | デフォルト：8 |
| ・ ストップビット | デフォルト：1 |
| ・ フロー制御 | デフォルト：0 |

7. 基本

- 1) 「基本」のタブをクリックします。図 22 が表示されます。「第2章 初期設定」で設定した内容が表示されます。

《 図 22 》



① 時計機能

時刻設定

- 装置 : 本機の時刻を表示します。
- PC : RPC コンダクタが起動している PC の時刻を表示します。
- NTP サーバ : NTP サーバの TCP/IP のアドレスを表示します。
- ※ 「時刻合わせ」ボタンをクリックすると本機を PC の時刻に合わせます。
- また、サーバーが登録されていれば、NTP の時刻に合わせます。

時計機能

「時差」、「サマータイム機能の有無」を表示します。

MSRP 通知機能

MSRP 通知機能の項目を表示します。

※詳しくは「第2章 初期設定 7. 監視」参照。

② セキュリティ

- セキュリティロックの有効無効を表示します。
- 猶予回数を表示します。
- 待機時間を表示します。

8. メール

- 1) 「メール」のタブをクリックします。図 23 が表示されます。「第2章 初期設定」で設定した内容が表示されます。

《 図 23 》



※ 詳しくは「第2章 初期設定 6. MAIL 設定」参照。

9. PING

- 1) 「PING」のタブをクリックします。図 24 が表示されます。「第2章 初期設定」で設定した内容が表示されます。

《 図 24 》



※ 詳しくは「第2章 初期設定 4. 詳細の内容入力」参照。

10. WOL

- 1) 「WOL」のタブをクリックします。図 25 が表示されます。「第2章 初期設定」で設定した内容が表示されます。

《 図 25 》

※ 詳しくは「第2章 初期設定 4. 詳細の内容入力 4. Wakeup の設定」参照。

仮想アウトレット

仮想アウトレットとは、実際には存在しないアウトレットであり、関連付けされたマックアドレスへマジックパケットを送出して、WOL 機能を実現させるためのものです。

動作は次のコマンドで行います。

WAKEn (n：仮想アウトレット番号)

応答

*00：OK 正常受付

*00：Locked セキュリティロック中

*00：Err エラー

11. スケジュール

1) 「スケジュール」のタブをクリックします。図 26 が表示されます。

《 ䷮ 26 》



① スケジュールの設定

日付を設定

「年を指定」にチェックし、右欄に西暦を入力してください。

チェックなしは毎年同じ設定になります。

月日を設定

「祝祭日テーブルを使用」か「月日を指定」を選択します。

「月日を指定」を選択した場合は「月を指定」、「日を指定」にチェックし、右欄に月日を入力してください。

「月を指定」のみにチェック : 指定「月」のみの設定

「日を指定」のみにチェック : 指定「日」のみの設定

両方ともチェックなし : 毎日設定

曜日指定

「曜日指定」にチェックし、曜日を指定してください。

「曜日指定」を選択した場合は月日を設定で「月日を指定」を選択し「月を指定」、「日を指定」をチェックしないでください。

時刻設定

スケジュール時刻を入力してください。

動作設定

動作およびアウトレットを選択してください。

スケジュール追加

「追加ボタン」でスケジュールを追加します。追加したスケジュールはスケジュールリストに追加されます。

スケジュール置換

書き換えるスケジュールを選択し、新スケジュールを設定してから「置換ボタン」で書き換えます。

スケジュール削除

スケジュールリストより削除するスケジュールを選択し「削除ボタン」で削除します。

② ファイルに保存

スケジュールリストの内容を「ファイルに保存ボタン」で保存します。

slt 形式で保存されます。

③ ファイルの読み込み

slt 形式のファイルを「ファイルを読むボタン」で読み込みます。

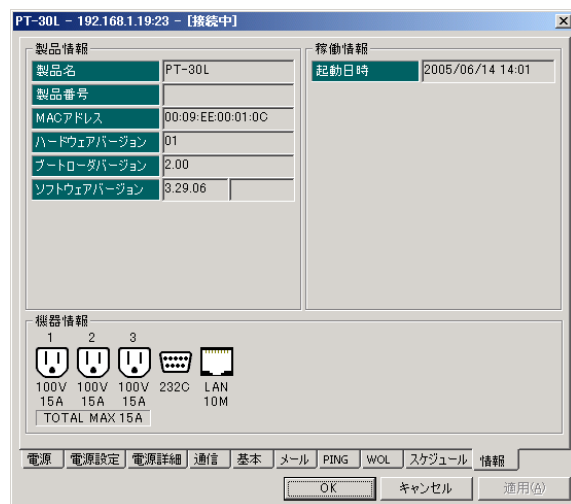
④ ファイルの移動

スケジュールリストの内容を「上へ移動」、「下へ移動」ボタンで移動できます。

12. 装置情報

1) 「装置情報」のタブをクリックします。図 27 が表示されます。

《 図 27 》



① 製品情報

各項目の情報を表示します。

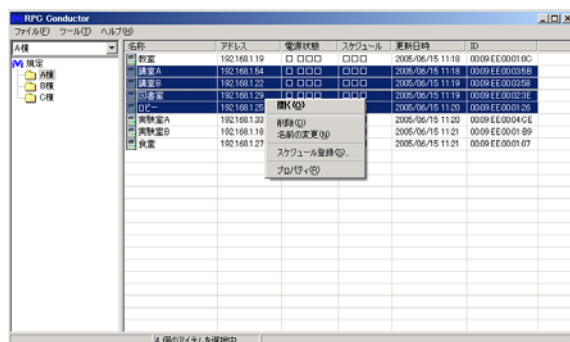
② 機器情報

各 IF の仕様です。

13. スケジュールの送信

「11. スケジュール」で作成したスケジュールを別の機器に送ることができます。

《 図 28 》



- 1) スケジュールを送る機器を選択します。複数の機器に送る場合は shift キーを押しながら選択します。
- 2) 右クリックして、「スケジュールの登録」を選択します。
- 3) ファイルを選択します。

第4章

他の制御方法

1. TELNET 接続による制御

PT-30L は TELNET サーバプログラムへ接続して、遠隔から電源制御および状態取得ができます。TELNET サーバプログラムに接続する TCP ポート番号は「23」（デフォルト）です。

1) 「スタート」から「ファイル名を指定して実行」を選択し、テキストボックスを開きます。「TELNET_“本機の IP アドレス”_23」を入力します。アンダーバーはスペースを意味します。

2) プログラムが起動し、下図のとおり表示されます。

```
220 23 PT-30L version x.xx.xx MEIKYO ELECTRIC CO.,LTD. 2003-2005
221 00:09:EE:xx:xx:xx
00:PT>
```

3) 制御コマンドを入力し、〈ENTER〉キーで実行します。

制御コマンド構成

*○○○○○○○○○#××××

○○○○○○○○○ : パスワード

×××× : 制御コマンド

例) アウトレット 1 番をオンします。

(パスワードデフォルト : 0000)

```
00:PT>*0000#PON1 <ENTER>
*00:OK
00:PT>
*00:POS=100,000,000,000
00:PT>
```

4) 終了コマンド「Q」を入力し、〈ENTER〉キーで実行します。

```
00:PT>*0000#Q <ENTER>
BYE
```

2. TELNET 接続によるバージョンアップ

PT-30L は TELNET サーバプログラムへ接続して、遠隔からファームウェアのバージョンアップができます。バージョンアップ用 TELNET サーバプログラムの TCP ポート番号は「9000」（デフォルト）です。

※ アップデート機能（R251）を有効にする必要があります。

詳細は「**■レジスター覧**」を参照してください。

1) 「スタート」から「ファイル名を指定して実行」を選択し、テキストボックスを開きます。「TELNET_ “本機の IP アドレス” _9000」を入力します。アンダーバーはスペースを意味します。

2) プログラムが起動し、下図のとおり表示されます。

PT-30L MEIKYO BOOT LOADER Ver 1.02

Firmware Ver x.xx

MAC Address : 00:09:EE:xx: xx: xx

login:

3) ログイン

ログイン : update

パスワード : 設定したパスワード（デフォルト 0000）

4) ファイル

新ファームウェアのファイルを転送します。

3. コマンドライン一覧

■制御コマンドライン

PONn	(コマンド長 4) Power ON
機能	指定アウトレットの ON
パラメータ	n =1~3 : アウトレット番号 =0 : すべてのアウトレット
応答	*00:POS=xxx,xxx,xxx : POS のステータス応答 表示コマンド「POS」参照
動作内容	複数のアウトレットに PON を行った場合、若い番号が優先されます。各アウトレット間には約 1 秒の間隔があきます。アウトレット状態が変わった時は POS の応答を返します。
制限	OFF 遅延時間中に PON を受信すると、その動作を中止し、シャットダウン信号を復帰させ、LED の点滅を中止し、元の PON の状態に復帰します。シャットダウン時間中に PON は無視されます。
応用	アウトレット番号は、カンマ区切りで複数指定可能です。 例) PON1,3

POFn	(コマンド長 4) Power OFF
機能	指定アウトレットの OFF
パラメータ	n =1~3 : アウトレット番号 =0 : すべてのアウトレット
応答	*00:Protected : 常時 ON モードによる POFF 禁止中 *00:POS=xxx,xxx,xxx : POS のステータス応答
動作内容	OFF 遅延時間,シャットダウン時間後にアウトレットの電源が切れます。アウトレット状態が変わったときは POS の応答を返します。リセット中のアウトレットに対して POF を実行しても無視されます。常時 ON モード中に POF を実行しても無視されます。
応用	アウトレット番号は、カンマ区切りで複数指定可能です。 例) POF1,3

PORn	(コマンド長 4) POver Reset
機能	指定アウトレットのリブート
パラメータ	n =1~3 : アウトレット番号 =0 : すべてのアウトレット
応答	*00:POS=xxx,xxx,xxx : POS のステータス応答
動作内容	アウトレット状態が変わった時は POS の応答を返します。
応用	アウトレット番号は、カンマ区切りで複数指定可能です。 例) POR1,3

MPON	(コマンド長 4) Master Power ON
機能	マスター電源の ON
パラメータ	なし
応答	*00:POS=xxx,xxx,xxx : POS のステータス応答
動作内容	即時に機能しますが、各アウトレット間には約 1 秒の間隔があきます。 アウトレット状態が変わった時は POS の応答を返します。

MPOF	(コマンド長 4) Master Power OFF
機能	マスター電源の OFF
パラメータ	なし
応答	*00:Protected : 常時 ON モードによる POFF 禁止中 *00:POS=xxx,xxx,xxx : POS のステータス応答
動作内容	OFF 遅延時間,シャットダウン時間後にアウトレットの電源を切ります。 アウトレット状態が変わった時は POS の応答を返します。
制限	全ての電源出力停止後、電源操作に関するコマンドを無視します。

WAKEn	(コマンド長 5) Wakeup
機能	指定仮想アウトレットの起動
パラメータ	n : 仮想アウトレット番号
動作内容	指定した MAC アドレスにマジックパケットを送信します。なお、パケットが相手に届いたか、あるいは相手が正常に起動したかどうかの判断はできません。
制限	指定するのは仮想アウトレットで、物理アウトレットとは別です。 R48x,R4Ax,R4Cx の設定が必要です。

SONn	(コマンド長 4) SChedule ON
機能	スケジュール機能の開始
パラメータ	n : 1～4 アウトレット番号 : 0 すべてのアウトレット

SOFn	(コマンド長 4) SChedule OFF
機能	スケジュール機能の停止
パラメータ	n : 1～4 アウトレット番号
動作内容	: 0 すべてのアウトレット

■設定コマンドライン

PSETn1,n2,n3,n4 (コマンド長 12～) Program SET	
機能	プログラムスケジュール機能の設定
パラメータ	n1 : 時刻 n2 : 日付 (年/月/日 形式) n3 : 曜日 (0=日, 1=月, …6=土, 1-5=月金; 1-6=月土) (/1 第 1 曜日, …/5 第 5 曜日, /以下省略は毎曜日) n4 : 処理 (PON/POF/POR/MPON/MPOF/SON/SOF) SOF : スケジュール一時停止 SON : スケジュール再開
書式例	PSET12:34,2005/12/31,6,PON1 12/31 (土) の 12:34 に実行 PSET12:34,,,PON1 : 毎日 12:34 に実行 PSET12:34,,w/2,PON1 : 第 2w 曜日の 12:34 に実行 PSET12:34,12/31,,PON1 : 12/31 の 12:34 に実行 PSET12:34,3/?w,MPOF : 3 月中の w 曜日の 12:34 に実行 PSET12:34,,,SOF1 : 毎日 12:34 にスケジュール停止
応答	*OO:FullMemory : メモリーの容量不足により設定不可 *OO:Doubled : 時刻・日付の重複により設定不可
動作内容	指定した時刻に、指定した動作を行ないます。またスケジュール機能の一時的 ON・OFF (SON,SOF) を行ないます。毎日指定時刻の動作以外にも、毎週動作、毎月動作、指定日時のみ動作が設定可能です。時刻と処理は省略できませんが、日付、曜日は、省略することができます。但し、コマンド区切りのカンマは略記できません。月日は、月だけ、または日だけの指定が可能です。日付を S で指定すると 2050 年までの祝日の年間設定ができます。
制限	指定の動作とは PON,POF,POR,MPON,MPOF,SON,SOF です。
PRESnn (コマンド長 6～) schedule Program RESet	
機能	スケジュールプログラム機能の設定解除
パラメータ	nn : PLIST で表示される 2～3 桁の番号
PCLR (コマンド長 4) schedule Program CLear	
機能	スケジュールプログラムの全消去
パラメータ	なし

DTn	(コマンド長 5~17) Date Time
機能	日時（内部 RTC）の変更
パラメータ	n : 13 桁または 15 桁の日時データまたは “NTP” ■ 直接指定方法 13 桁 yyyymmddwHHMM (秒を省略) 15 桁 yyyymmddwHHMMSS yyyy : 年 mm : 月 dd : 日 w : 曜日（日曜日=0 月曜日=1 ~ 土曜日=6） HH : 時 MM : 分 SS : 秒
応答	例） *00:DT=2005/06/21 Tue 16:19:00
制限	日時は 2000 年 1 月 1 日～2099 年 12 月 31 日の範囲です 秒を省略した場合は 00 秒であるとして処理します。 曜日欄を「,」にすると自動計算します。 例 1) 2000 年 9 月 12 日 土曜日 23:45 DT2000091262345 例 2) 2000 年 9 月 12 日 土曜日 12:34:56 DT200009126123456 ■NTP 利用 n に NTP を指定します。R220 で指定した NTP サーバに時刻情報を要求し、その時刻で設定を行ないます。 例） *0000#DTNTP
制限	R220 に NTP の IP アドレス設定が必要です。

Rn=m	(コマンド長 4~) Register
機能	指定レジスタ値の変更
パラメータ	n : レジスタ番号（16 ビット 16 進数） m : 引数

LCLR	(コマンド長 4) Log list CLear
機能	LOG 一覧の全消去
パラメータ	なし

BSTOP	(コマンド長 5) Blink STOP
機能	PILOT LED の点滅停止
パラメータ	なし

WDSn	(コマンド長 4) Watch Dog Start
機能	コマンド式ウォッチドッグモードの開始
パラメータ	n =1~3 : アウトレット番号 =0 : すべてのアウトレット
応答	*00:POS=xxx,xxx,xxx : POS のステータス応答
動作内容	レジスタ 1 に指定した時間内に次の WDC または PON が受信されないと、POR 状態（標準状態）に切り替わります。動作は、レジスタ 580 番台で変更でき、PON/POF/POR が選択可能です。

WDCn	(コマンド長 4) Watch Dog Clear counter
機能	コマンド式ウォッチドッグモードカウンタのリセット
パラメータ	n =1~3 : アウトレット番号 =0 : すべてのアウトレット
応答	*00:POS=xxx,xxx,xxx : POS のステータス応答
動作内容	進行した内部ウォッチドッグ待機カウンタを 0 にリセットします。このコマンドを実行することで、再びレジスタ 110 の時間の待機が継続されます。ウォッチドッグを解除したい場合は PON を実行してください。

CPURESET	(コマンド長 8)
機能	CPU リセット
動作内容	本機の CPU をリセットし、再起動します。

■表示コマンドライン

LLIST	(コマンド長 5)	Log LIST
LL	(コマンド長 2)	Log List
LLISTR	(コマンド長 6)	Log LIST Reverse
LLR	(コマンド長 3)	Log List Reverse
機能	LOG 一覧の表示	
パラメータ	なし	
応答	LLIST/LL : 古い Log から表示 LLISTR/LLR : 新しい Log から表示 例) *00:LLIST= 2002/04/01 Mon 12:34 PON0 K 2002/04/01 Mon 12:34 PON1 O 2002/04/01 Mon 12:34 PON2 O 2002/04/01 Mon 12:34 PON3 O -- LOGLIST END --	
	BOOT : 機械の電源投入 MPON x : マスター電源 ON PONx : 電源 ON MPOF x : マスター電源 OFF POFx : 電源 OFF UPS LB : UPS ローバッテリー PORx : リブート SHUT O : シャットダウン開始 UPS OK : UPS 正常復帰 SONx : スケジュール機能 ON UPS PF : UPS 電源障害 SOFx : スケジュール機能 OFF DT : DT コマンド実行	
	K キーボード・コマンド入力 M MagicPacket W Web からのコマンド入力 B 押しボタン S スケジュール実行 U UPS P PING/IP 監視動作 X 自動動作 O アウトレット動作	
LOGn	(コマンド長 4)	
機能	指定アウトレットの最新 LOG 表示	
パラメータ	n =1~3 : アウトレット番号 =0 : 本機起動日時	
応答	例) *00:LOGn=1998/09/12 Sat 09:05 ON *00:LOGn=1998/09/14 Mon 12:34 OFF *00:LOGn=1998/09/02 Wed 20:00 RESET	
工場出荷値	0000/00/00 Sun 00:00 ON	

POS	(コマンド長 3) POver Status
機能	全アウトレットの状態表示
パラメータ	なし
応答	*00:POS=nXX,nXX,nXX (アウトレット 1~3 に CSV 出力) n =0: OFF =4: ウォッチドッグ中 =1: ON =5: ON 待機時間待機中 =2: シャットダウン中 =6: OFF 遅延時間待機中 =3: リセット中 XX n=1 の時 PON 累積カウンタ n=2 の時 シャットダウン処理の OFF までの残分数 n=3 の時 リセット処理の ON までの残秒数 n=6 の時 POF 待機処理の残分数
MPOS	(コマンド長 4) Master POver Status
機能	マスター電源と全アウトレットの状態表示
応答	*00:POS=Z,nXX,nXX,nXX (アウトレット 1~3 に CSV 出力) ※ 最初の Z, 以外は POS と同じ Z =0: マスター電源 OFF =1: マスター電源 ON
DT	(コマンド長 2) Date Time
機能	現在日時 (内部 RTC) の表示
パラメータ	なし
応答	*00:DT=2000/09/12 Mon 23:45:00
VER	(コマンド長 3) VERsion
機能	ファームウェアバージョンの表示
パラメータ	なし
応答	*00:PT-30L Ver x.xx
Rn	(コマンド長 3) Register
機能	指定レジスタ値の表示
パラメータ	n : レジスタ番号
応答	*00:R100=0000

RLIST	(コマンド長 5)	Register LIST
RL	(コマンド長 2)	Register List
機能	レジスタ値一覧の表示	
パラメータ	なし	
応答	*00:RL= R100=0000 R101=0000 (略) -- REGLIST END --	
RLISTC	(コマンド長 6)	Register LIST Command line
RLC	(コマンド長 3)	Register List Command line
機能	レジスタ値一覧の表示	
パラメータ	なし	
応答	*00:RL= *0000#R100=0000 *0000#R101=0000 (略) -- REGLIST END --	
PLIST	(コマンド長 5)	schedule Program LIST
PL	(コマンド長 2)	schedule Program List
機能	スケジュールプログラム機能の設定表示	
パラメータ	なし	
応答	*00:PLIST= PL00=PON1 2005/12/3100:00 All (日付時刻指定時) PL01=PON1 00:00 Fri (曜日時刻指定時) PL02=PON1 ??/0100:00 All (毎月 1 日時刻指定時) PL03=PON1 00:00 Wed3 (指定週 曜日時刻指定時) -- PLIST END --	
SCS	(コマンド長 3)	SCchedule Status
機能	スケジュールの状態表示	
パラメータ	なし	
応答	*00:SCS=nXX,nXX,nXX n =0 : スケジュール OFF 状態 =1 : スケジュール ON 状態 XX : PON 累積のカウンタ	

■その他

Q	(コマンド長 1)	Quit
QUIT	(コマンド長 4)	Quit
EXIT	(コマンド長 4)	Exit

機能	終了
動作内容	TELNET 接続の場合は切断します。 モデム接続の場合はモデム切断します。 それ以外の状況ではエラーとなります。

■共通応答

*00:OK	: 正常受付
*00:Locked	: セキュリティロック中
*00:Err	: エラー

4. パソコンモードでの制御

シリアルポートからコマンド入力で電源制御ができます。

- 1) MRC-UTILITY で COM 設定をします。
- 2) 本体底面の DIP スイッチ.1 を全て OFF にします。
- 3) 本体前面の COM とパソコンの COM を付属の RS232C（クロス）ケーブルで接続します。
- 4) ターミナルソフトを起動し、PC のポート設定をします。
- 5) 制御コマンドを入力し<Enter>キーで実行します。
コマンドは「TELNET 接続による制御」と共通です。

5. モデムモードでの制御

モデム経由で電源制御ができます。

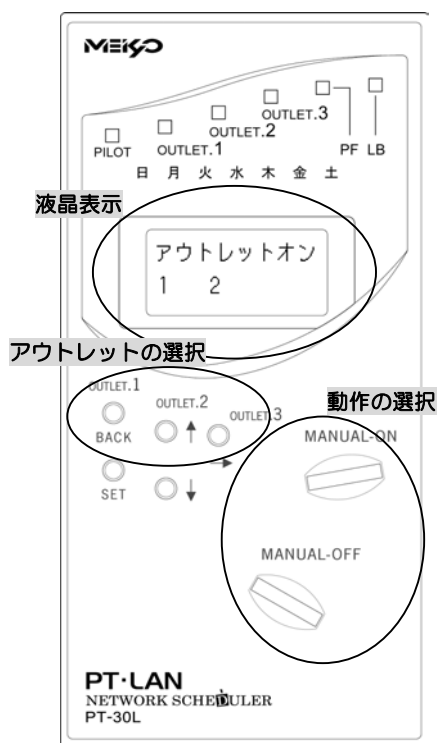
- 1) MRC-UTILITY でモデム設定・COM 設定をします。
- 2) 本体底面の DIP スイッチ.1-2 を ON にします。
- 3) 本体後面の COM とモデムをストレートケーブルで接続します。
付属のケーブルではありません。モデムに付属のケーブルをお使いください。
- 4) 遠隔地のモデムから接続します。
- 5) 制御コマンドを入力し<Enter>キーで実行します。
コマンドは TELNET と共通です。
※ 詳しくは「3.コマンドライン一覧」参照。

第5章

フロントパネル の操作

1. 電源制御

フロントパネルの各ボタンを操作することにより、手動で電源の制御及び各種設定をすることができます。



1) アウトレットの選択

制御をするアウトレットのボタンを押します。
液晶画面に「アウトレット」と選択した番号が表示されます。

複数の選択)

順次、アウトレットのボタンを押します。

番号が追加表示されます。

全アウトレットの選択)

アウトレットのボタンを押さずに 2)へ進みます。

2) 動作の選択

ON または OFF のボタンを押します。

液晶画面に「アウトレット」の後に「オン」または「オフ」の表示が追加されます。

3) 動作の実行

「動作の選択」で選択したボタンを再度押します。選択された動作が実行されます。

2. 各種設定

1) 設定モードへの移行

「SET」ボタンを3秒以上押続けます。

液晶画面の上段に「システムセッテイ」が表示されます。

2) 設定項目の選択

「↑」、「↓」ボタンで設定項目を選択し、「SET」ボタンを押し設定項目を確定します。

※詳しくは「■マニュアル設定表示一覧」参照。

4) 設定内容の決定

「↑」、「↓」、「→」ボタンで設定内容を選択し、「SET」ボタンを押し設定内容を確定します。

※ 詳細設定は、「第2章 初期設定（MRC-UTILITYによる設定）」で設定することをお勧めします。

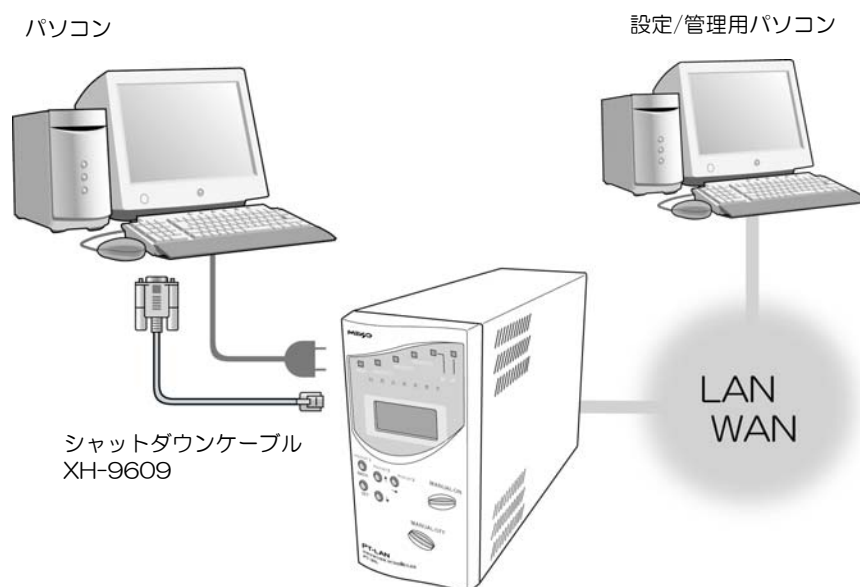
第6章

シャットダウン

1. パソコンの接続

シャットダウン機能により、接続された機器の OS を正常に終了させてから本機の電源出力を停止できます。この機能を利用して、コンピュータの管理や遠隔地からのリモート通信などが容易にできるようになります。

- 1) 別売のシャットダウンケーブル（XH-9609）で、本機とパソコンを接続します。
パソコンの電源ケーブルも本機に接続します。



注 意

別売のシャットダウンケーブル（XH-9609）は専用ケーブルです。指定以外の機種や機器に使用しないでください。誤った使い方をしますと「接続した機器の故障」、「接続した機器の発火」などの原因となることがあります。

接続されたパソコンのデータは定期的にバックアップを取ってください。

2. パソコンの設定

パソコンのシャットダウン設定をします。

本機の信号極性とパソコンの信号極性を合わせます。

■本機の電源障害信号極性について

※詳しくは「第2章 初期設定 3. 基本設定2の内容入力」参照。

■パソコンの電源障害信号極性について

シャットダウン・ソフトを利用して設定します。

Windows 98/ME	: 添付ソフト「MRC-SHUTDOWN」
Windows NT/2000/XP	: 標準 UPS サービス
LINUX	: 電源障害信号に対応したソフトをご選択ください。

1) Windows 98/ME

MRC-SHUTDOWN を PC にインストールします。

インストール手順は添付 CD の readme.txt を参照してください。

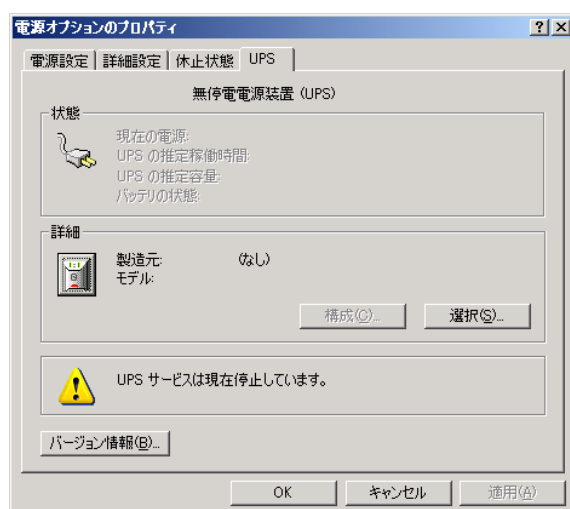
2) Windows 2000/XP

① 設定するパソコンの「コントロールパネル」を開きます。

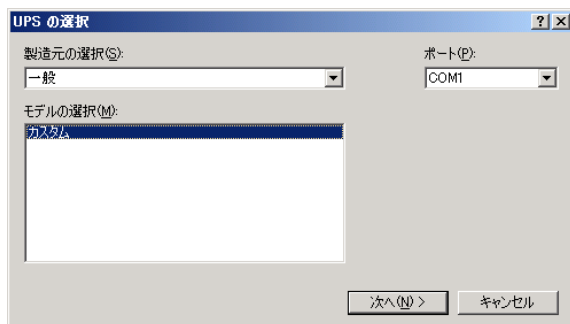
② 「電源オプション」のアイコンをダブルクリックします。

③ 「UPS」のタブをクリックします。

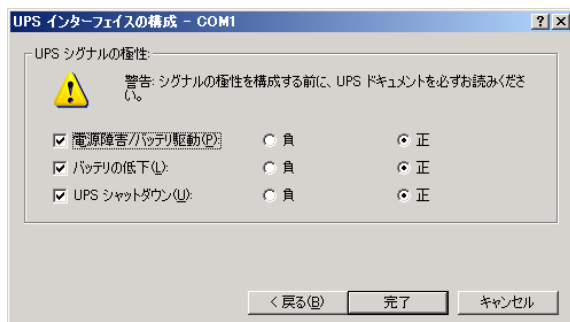
《UPS 画面》



- ④ 詳細欄の「選択 (S)」のボタンをクリックします。
- ⑤ 「製造元の選択 (S)」項目のリストから「一般」を選択します。
- ⑥ 「モデルの選択 (M)」で「カスタム」をクリックして選択します。
《モデルの選択画面》



- ⑦ 「ポート (P)」項目のリストから COM ポート番号を選択します。
- ⑧ 「次へ (N) >」のボタンをクリックします。
《UPS インターフェース画面》



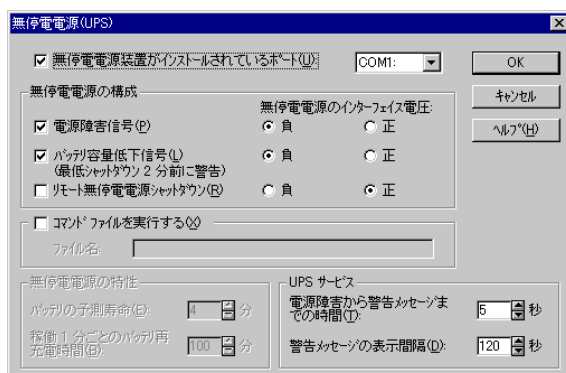
- ⑨ 「電源障害/バッテリー駆動」にチェックを入れます。
- ⑩ 各極性を本機と同じ極性に設定します。
- ⑪ 正負の選択ができましたら、「完了」ボタンをクリックします。

※ UPS 連携の場合は「バッテリーの低下」も同じように設定します。

3) Windows NTの場合

- ① 設定するパソコンの「コントロールパネル」を開きます。
- ② 「無停電電源」のアイコンをダブルクリックします。
- ③ 「無停電電源装置がインストールされているポート」にチェックを入れ、COMポート番号を選択します。
- ④ 「電源障害信号」にチェックを入れます。

《UPS 設定画面》



- ⑤ 各極性を本機と同じ極性に設定します。
- ⑥ 正負の選択ができましたら、「OK」ボタンをクリックします。

※UPS 連携の場合は「バッテリー容量低下信号」も同じように設定します。

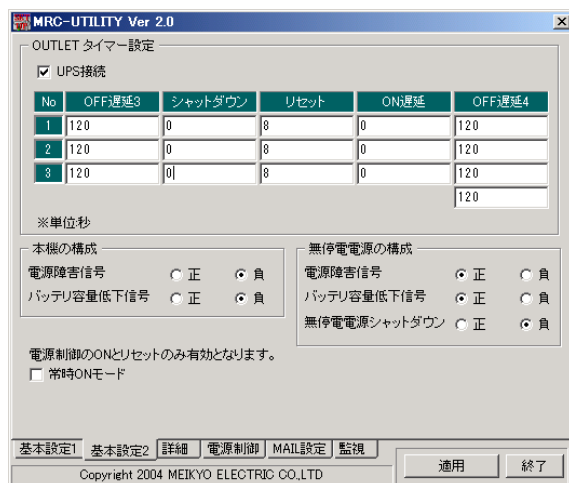
第7章

無停電電源装置(UPS) との連携

1. 初期設定

MRC-UTILITY で設定します。

1) 「基本設定.2」を表示します。



2) 「UPS 接続」にチェックを入れ、OUTLET タイマー設定をします。
各動作と設定時間の関係は「第8章 仕様 ■タイムチャート」を参照してください。

① OFF 遅延.3 (秒)

電源 OFF 命令後、シャットダウンに移行するまでの時間。
このタイマーの動作中は電源 ON 命令で、電源 OFF 動作をキャンセルできます。

デフォルト：120 設定可能値：0～3600

② OFF 遅延.4 (秒)

電源障害発生後、シャットダウンに移行するまでの時間。
このタイマーの動作中に電源障害が復旧すると、自動で電源 OFF 動作をキャンセルします。

デフォルト：120 設定可能値：0～3600

③ シャットダウン (秒)

デバイスのシャットダウン完了まで電源 OFF を待機させる時間。
このタイマー動作中は電源 OFF 動作をキャンセルすることはできません。

デフォルト：0 設定可能値：0～3600

④ リセット (秒)

アウトレットに電源供給を停止してから電源 ON 動作開始までの時間。

デフォルト：0 設定可能値：0～3600

⑤ ON 遅延 (秒)

電源 ON 動作後、アウトレットに電源供給を開始するまでの時間。

デフォルト：0 設定可能値：0～3600

4) 無停電電源の構成を設定します。

電源障害信号、バッテリー容量低下信号、無停電電源シャットダウンの極性を無停電電源装置（UPS）と同じ極性に設定します。

5) 「適用」 ボタンをクリックします。

注 意

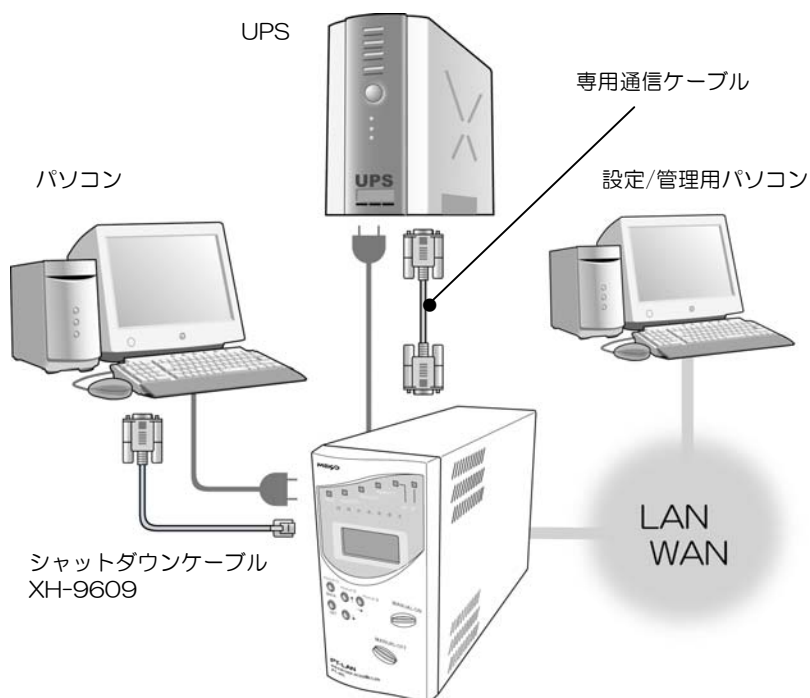
設定後は、必ず「適用」 ボタンをクリックしてください。
「適用」 ボタンのクリックがないと設定が反映されません。

2. 本機と無停電電源装置（UPS）の接続

停電が発生すると UPS から信号が出力されます。本機は UPS からの信号を受けて、シャットダウンインタフェースより各デバイスへ信号を出力します。

接続前の確認

- UPS の電源を OFF にしてください。
- 本機の電源が入っていないことを確認してください。



- 1) 本体後面の COM と UPS を専用通信ケーブルで接続します。
専用通信ケーブルは各 UPS メーカーにご相談ください。
- 2) 本体底面 DIP スイッチ SW-1 の No.1 を ON にします。
UPS のご利用時は常にこの位置にしておきます。
- 3) 本機の電源コードを UPS の AC アウトレットに接続します。
- 4) UPS の電源出力を開始します。
- 5) パソコンの設定をします。
※詳しくは「第 6 章シャットダウン」参照。

第8章 仕様

■レジスター一覧

100	システム基本設定
R100	パスワード (MAX16 桁) デフォルト: 0000
R101	パスワード (4 桁) デフォルト: 0000
R110	ウォッチドッグ待機時間 (WDS/WDC コマンド利用) デフォルト: 0 (秒) 設定可能値: 0~3600
R111	起動時パワーON 待機時間 デフォルト: 0 (秒) 設定可能値: 0~3600
R130	エコバック設定 0=エコバック無し 1=入力エコバック有り 2=改行後エコバック有り デフォルト: 1
140	モデム制御
R140	RING 受信回数 デフォルト: 1 (回) 設定可能値: 0~255
R141	無通信時間 デフォルト: 5 (分) 設定可能値: 0~255
R142	ER 断時間 デフォルト: 8 (秒) 設定可能値: 0~3600
R143	モデム初期化文字列 (MAX 31 桁) AT
R144	RING 文字列 (MAX 31 桁) RING
R145	CONNECT 文字列 (MAX 31 桁) CONNECT
R146	NO CARRIER 文字列 (MAX 31 桁) NO CARRIER

170	電源管理	
	R170	常時 ON モード 0=無効 1=有効 デフォルト：0
190	シリアル	
	R190	COM 通信速度 デフォルト：9600 (bps) 設定可能値：4800/9600/14400/19200 38400/57600
	R191	シリアルデータ長 (7/8) デフォルト：8 (bit)
	R192	シリアルパリティ 0=なし 1=偶数 2=奇数 デフォルト：0
	R193	シリアルストップビット (1/2) デフォルト：1 (bit)
	R194	シリアルフロー制御 0=X 制御 XON/XOFF 1=S 制御 RS/CS 2=R 制御 DR/ER (未対応) デフォルト：0
200	ネットワーク設定	
	R200	IP アドレス デフォルト：192.168.10.1
	R201	サブネットマスク デフォルト：255.255.255.0
	R202	ブロードキャストアドレス デフォルト：255.255.255.255
	R204	IPv4 プライマリ DNS サーバアドレス デフォルト：0.0.0.0
	R205	IPv4 セカンダリ DNS サーバアドレス デフォルト：0.0.0.0
	R210	デフォルトルート デフォルト：192.168.10.2

220 タイムサーバ機能	
R220	NTP の IPv4 アドレス デフォルト：0.0.0.0
R222	SNTP サーバ機能 0=無効 1=有効 デフォルト：0
230 MSRP 通知機能	
R230	通知機能 0=無効 1=有効 デフォルト：0
R231	送信先の IPV4 アドレス デフォルト：0.0.0.0
R232	送信先のポート番号 デフォルト：5000
R233	通知の送信間隔 デフォルト：60（秒）
R234	電源状態変化時の通知回数 デフォルト：2（回）
R235	電源状態変化時の通知間隔 デフォルト：3（秒）
240 HTTP サーバ機能	
R240	HTTP サーバ機能 0=無 1=有効 デフォルト：0
R241	待ち受けポート番号 デフォルト：80
R248	ON の色 デフォルト：#00FF00
R249	OFF の色 デフォルト：#COCOCO
250 アップデート機能	
R250	未使用
R251	アップデート機能 0=無効 1=有効 デフォルト：0
R252	アップデート用のポート番号 デフォルト：9000

260	ネット諸機能
R260	PING 送信間隔 デフォルト：1（分） 設定可能値：0～255 ※必ず R560 の設定値以上とします。
270	TELNET コンソール（未使用）
R270	TELNET コンソールログイン 0=無効 1=有効 デフォルト：1
R271	TELNET コンソールログイン・ポート番号 デフォルト：23
280	ネット関係設定
R280	MTU デフォルト：1500 ※必ず 1500 以下の数値とします。
R281	TTL デフォルト：32
R282	2MSL 設定 1 ESTABLISH 中 デフォルト：120（秒）
R283	2MSL 設定 2 ESTABLISH 以外 デフォルト：120（秒） ※MSL=Maximum Segment Lifetime（最大セグメント寿命）
R284	（未使用）
R285	（未使用）
R286	（未使用）
R287	（未使用）
290	ネット特殊機能（未使用）
R290	TCP メッセージ文字列（14 文字）
R291	EVIL パケットを受信しない 0=無効 1=有効 デフォルト：0
R294	グローバル IP アドレスを返す CGI のパス（現在は無効）
300	シャットダウン時間設定
R300	アウトレット 1
R301	アウトレット 2
R302	アウトレット 3 デフォルト：0（秒） 設定可能値：0～3600

320	リセット時間設定
R320	アウトレット 1
R321	アウトレット 2
R322	アウトレット 3
	デフォルト：8（秒）
	設定可能値：0～3600
340	電源 ON 遅延時間設定
R340	アウトレット 1
R341	アウトレット 2
R342	アウトレット 3
	デフォルト：0（秒）
	設定可能値：0～3600
360	OFF 遅延時間 1
R360	アウトレット 1
R361	アウトレット 2
R362	アウトレット 3
	デフォルト：0（秒）
	設定可能値：0～3600
400	ウェイクアップ先 MAC アドレス
R400	アウトレット 1
R401	アウトレット 2
R402	アウトレット 3
	デフォルト：00:00:00:00:00:00
420	ウェイクアップ先送信回数
R420	アウトレット 1
R421	アウトレット 2
R422	アウトレット 3
	デフォルト：5（回）
	設定可能値：0～255
440	ウェイクアップ先送信間隔
R440	アウトレット 1
R441	アウトレット 2
R442	アウトレット 3
	デフォルト：10（秒）
	設定可能値：0～3600
480	ウェイクアップ先 MAC アドレス
R480	仮想アウトレット 1
R481	仮想アウトレット 2
R482	仮想アウトレット 3
R483	仮想アウトレット 4
R484	仮想アウトレット 5
	デフォルト：00:00:00:00:00:00

4A0	ウェイクアップ先送信回数	
	R4A0	仮想アウトレット 1
	R4A1	仮想アウトレット 2
	R4A2	仮想アウトレット 3
	R4A3	仮想アウトレット 4
	R4A4	仮想アウトレット 5
		デフォルト：5（回）
		設定可能値：0～255
4C0	ウェイクアップ先送信間隔	
	R4C0	仮想アウトレット 1
	R4C1	仮想アウトレット 2
	R4C2	仮想アウトレット 3
	R4C3	仮想アウトレット 4
	R4C4	仮想アウトレット 5
		デフォルト：10（秒）
		設定可能値：0～3600
500	AND/OR 条件	
	R500	アウトレット 1
	R501	アウトレット 2
	R502	アウトレット 3
		0=AND
		1=OR
		デフォルト：0
520	待機回数条件	
	R520	アウトレット 1
	R521	アウトレット 2
	R522	アウトレット 3
		デフォルト：0（回）
		設定可能値：0～255
540	PING 待機回数	
	R540	アウトレット 1
	R541	アウトレット 2
	R542	アウトレット 3
		デフォルト：4（回）
		設定可能値：1～255
560	PING 応答待機時間	
	R560	アウトレット 1
	R561	アウトレット 2
	R562	アウトレット 3
		デフォルト：2（秒）
		設定可能値：1～3600
		※必ず R260 の設定値以下とします。

580	動作 (PON/POF/POR/MPON/MPOF)
R580	アウトレット 1
R581	アウトレット 2
R582	アウトレット 3
	デフォルト: POR
5A0	リブート待機回数
R5A0	アウトレット 1
R5A1	アウトレット 2
R5A2	アウトレット 3
	デフォルト: 0 (回)
5C0	リブート実行回数
R5C0	アウトレット 1
R5C1	アウトレット 2
R5C2	アウトレット 3
	デフォルト: 0 (回)
600	PING 監視アドレスアウトレット 1
R600	アドレス 1
R601	アドレス 2
R602	アドレス 3
	デフォルト: 0.0.0.0
610	PING 監視アドレスアウトレット 2
R610	アドレス 1
R611	アドレス 2
R612	アドレス 3
	デフォルト: 0.0.0.0
620	PING 監視アドレスアウトレット 3
R620	アドレス 1
R621	アドレス 2
R622	アドレス 3
	デフォルト: 0.0.0.0
630	PING 監視アドレスアウトレット 4
R630	アドレス 1
R631	アドレス 2
R632	アドレス 3
	デフォルト: 0.0.0.0
800	セキュリティシステム
R800	セキュリティロック猶予回数
	デフォルト: 0 (回)
	設定可能値: 0~255
R801	セキュリティロック待機時間
	デフォルト: 0 (分)
	設定可能値: 0~3600

870	システム名称
R870	システム名称 (MAX 31 桁) (日本語使用不可)
R871	システム設置場所 (MAX 31 桁)
R872	コンタクト (MAX 31 桁)
880	アウトレット名 (MAX 31 桁)
R880	アウトレット 1
R881	アウトレット 2
R882	アウトレット 3
900	システム詳細設定
R900	協定世界標準時との時差 デフォルト：+9 設定可能値：-12～0～+12
R901	サマータイム機能 0=OFF 1=ON デフォルト：0
R902	サマータイム開始 月日 デフォルト：初期値は 3 月最終日曜日 2:00[標準時]
R903	サマータイム終了 月日 デフォルト：初期値は 10 月最終日曜日 2:00[夏時間]
R908	時刻表現方法 (未使用)
R910	機器選択番号 (英数 2 桁) デフォルト：00
R920	受信マジックパケット対応 0=対応しない 1=対応する デフォルト：0
R930	認証方法 (未使用)
980	シャットダウン
R980	シャットダウン信号 <CS の論理> 1=イベント時：正 0=イベント時：負 デフォルト：1
R981	シャットダウン信号 <CD の論理> 1=イベント時：正 0=イベント時：負 デフォルト：1
R982	シャットダウン信号 CS の変化による CD 出力 0=出力しない 1=出力する デフォルト：0

1000	OFF 遅延時間 4
R1000	アウトレット 1
R1001	アウトレット 2
R1002	アウトレット 3
	デフォルト：120（秒）
	設定可能値：0～3600
1020	OFF 遅延時間 3
R1020	アウトレット 1
R1021	アウトレット 2
R1022	アウトレット 3
	デフォルト：120（秒）
	設定可能値：0～3600
1040	CS/CD 遅延時間
R1040	アウトレット 1
R1041	アウトレット 2
R1042	アウトレット 3
	デフォルト：1（秒）
	設定可能値：0～3600
1060	OFF 遅延時間 2
R1060	アウトレット 1
R1061	アウトレット 2
R1062	アウトレット 3
	デフォルト：0（秒）
	設定可能値：0～3600
1080	入出力する CS/CD/ER 信号の極性（UPS 側極性）
R1080	CS 信号の極性
	0=イベント時：HIGH
	1=イベント時：LOW
	デフォルト：0
R1081	CD 信号の極性
	0=イベント時：HIGH
	1=イベント時：LOW
	デフォルト：0
R1084	ER 信号の極性
	0=イベント時：HIGH
	1=イベント時：LOW
	デフォルト：1

2000	電子メール送信機能
R2000	SMTP サーバ IP アドレス デフォルト：0.0.0.0
R2002	SMTP サーバポート番号 デフォルト：25
R2004	SMTP タイプ 0= SMTP 1= ESMTP デフォルト：0
R2005	SMTP 送信前に POP3 認証を行なう 0= OFF 1= ON デフォルト：0
R2006	R2005 の待機時間（単位 0.1 秒） デフォルト：0.3（秒）
2030	電子メール受信機能
R2030	POP3 サーバ IP アドレス デフォルト：0.0.0.0
R2032	POP3 サーバポート番号 デフォルト：110
R2041	POP3 ユーザーID
R2042	POP3 パスワード
2100	電子メール基本設定
R2100	From に書くメールアドレス（必須）
R2110	メールを送る宛先 1 （必須）
R2111	メールを送る宛先 2
R2112	メールを送る宛先 3
R2113	メールを送る宛先 4
2200	電子メール送信機能の設定
R2200	メール送信機能 0= OFF 1= ON デフォルト：1
R2201	メール送信間隔（単位 0.1 分） デフォルト：1（分）

2210 電子メール送信条件の設定デフォルト	
	0= 未送信 1= 送信
R2210	コマンド入力での動作 デフォルト：1
R2211	スケジュール実行での動作 デフォルト：1
R2212	PING での動作 デフォルト：1
R2213	押しボタンでの動作 デフォルト：1
R2220	BOOT デフォルト：1
R2230	PONx デフォルト：1
R2231	POFx デフォルト：1
R2232	PORx デフォルト：1
R2233	MPON デフォルト：1
R2234	MPOF デフォルト：1
R2240	UPS PF (UPS 電源障害) デフォルト：1
R2241	UPS LB (UPS ローバッテリー) デフォルト：1
R2242	UPS OK (UPS 正常復帰) デフォルト：1
R2243	SHUTO (シャットダウン) デフォルト：1
3000 ネットワークレベル・セキュリティ設定	
R3000	IPレベルセキュリティシステム 0= 無効 1= 有効 デフォルト：0
4000 パケットスニファア機能	
R4000	パケットスニファア機能 0= 無効 1= 有効 デフォルト：0

4010 パケッスニファ-待機時間 1	
R4010	アウトレット 1 待機時間
R4011	アウトレット 2 待機時間
R4012	アウトレット 3 待機時間
	デフォルト：5（分）
4030 パケッスニファ-待機時間 2	
R4030	アウトレット 1 待機時間
R4031	アウトレット 2 待機時間
R4032	アウトレット 3 待機時間
	デフォルト：5（分）
4050 パケッスニファ-リブート実行回数	
R4050	アウトレット 1 実行回数
R4051	アウトレット 2 実行回数
R4052	アウトレット 3 実行回数
	デフォルト：1（回）
4100 パケッスニファ-設定	
R4100	アウトレット 1 監視アドレス A
R4101	アウトレット 1 監視アドレス B
R4110	アウトレット 2 監視アドレス A
R4111	アウトレット 2 監視アドレス B
R4120	アウトレット 3 監視アドレス A
R4121	アウトレット 3 監視アドレス B
R4130	アウトレット 4 監視アドレス A
R4131	アウトレット 4 監視アドレス B

パケッスニファ-機能

アドレス A が、監視する対象のアドレスです。アドレス B は、アドレス A が通信する対象です。（アドレス B は省略可能です。）ネットワーク上を流れるアドレス A からのパケットを傍受し、アドレス B への通信が定期的に行なわれているかどうかを監視します。一定時間内に指定のパケットが傍受できないと異常と判断します。最初のパケットを確認するまでの時間が待機時間 1 であり、その後、次のパケットを受信するまでの時間が待機時間 2 になります。パソコンの起動時間などを考慮して、待機時間 1 はやや長めに設定しておくことができます。動作の設定は、PING による死活監視と共通設定です。[R580～R583] PING による死活監視との併用は可能です。注意点として、パケットを傍受するため、スイッチング HUB は使用できません。

■マニュアル設定表示一覧

I	II	III	IV	V	VI
システムセッテイ ↓ スケジ ュール	スケジ ュール ↓ x x xシンキ	ト" ウサ ↓ AAAA	ト" ウサ AAA ↓ アウトレット N	ト" ウサ AAA N ↓ 毎日	毎日 AAA N @00:00
	o r スケジ ュール ↓ x x xヘンコウ	AAAA: ON OFF RES SON SOF	N: 全 1 2 3	ト" ウサ AAA N ↓ ハタ日	ハタ日 AAA N @00:00
				ト" ウサ AAA N ↓ 一日	一日 AAA N 2005/1/1
				ト" ウサ AAA N ↓ 毎年	毎年 AAA N 01/01
				ト" ウサ AAA N ↓ 毎月	毎月 AAA N 毎週 日曜日
				ト" ウサ AAA N ↓ 毎週	毎週 AAA N 日曜日
				ト" ウサ AAA N ↓ 毎月～土	毎月～土 AAA N @00:00
				ト" ウサ AAA N ↓ 毎月～金	毎月～金 AAA N @00:00
		AAAA: MPON MPOF @NTP	ト" ウサ AAAA ↓ 毎日	毎日 AAAA @00:00	
			ト" ウサ AAAA ↓ ハタ日	ハタ日 AAAA @00:00	
			ト" ウサ AAAA ↓ 一回	一回 AAAA 2005/1/1	
			ト" ウサ AAAA ↓ 毎年	毎年 AAAA 01/01	
			ト" ウサ AAAA ↓ 毎月	毎月 AAAA 毎週 日曜日	
			ト" ウサ AAAA ↓ 毎週	毎週 AAAA 日曜日	
			ト" ウサ AAAA ↓ 毎月～土	毎月～土 AAAA @00:00	
			ト" ウサ AAAA ↓ 毎月～金	毎月～金 AAAA @00:00	
	スケジ ュール ↓ x x xヘンコウ	ト" ウサ ↓ ケス			

I	II	III	IV	V	VI	VII
システムセッテイ ↑ レジ" スタ	レジ" スタ ↑ キホンセッテイ	キホンセッテイ ↑ パスワート"	パスワート" 0000			
		キホンセッテイ ↑ サマータイム	サマータイム ↑ キノウ	キノウ ↓ OFF		
				キノウ ↓ ON		
			サマータイム ↑ オワリニチシ"	オワリヒツケ ↓ 10月 曜日	オワリヨウビ ↓ 第 日曜日	オワリジコク *@02:00
			サマータイム ↑ カイシニチシ"	カイシヒツケ ↓ 03月 曜日	カイシヨウビ ↓ 第 日曜日	カイシジコク *@02:00
		キホンセッテイ ↑ シ" サ	シ" サ +09:00			
		キホンセッテイ ↑ WDカンシ	WDカンシ タイキシ" カン			
		キホンセッテイ ↑ ロックキノウ	ロックキノウ ↑ ユウヨカイスウ	ユウヨカイスウ 00000		
			ロックキノウ ↑ タイキシ" カン	タイキシ" カン 0000. 0分		
	レジ" スタ ↑ チエンシ" カン	チエンシ" カン ↑ キホン	キホン キト" ウチエン	キト" ウチエン 0001. 0s		
		チエンシ" カン ↑ UPSアリ	UPSアリ ↑ BBBチエン	BBBチエン ↑ アウトレットM	アウトレットM 0000. 0s	
			BBB: OFF,CS,CMD	M: 1,2,3		
		チエンシ" カン ↑ UPSナシ	UPSナシ ↑ シャットDW	シャットDW ↑ アウトレットM	アウトレットM 0000. 0s	
				M: 1,2,3		
			UPSナシ ↑ CMDチエン	CMDチエン ↑ アウトレットM	アウトレットM 0000. 0s	
			CCC: CMD,ON	M: 1,2,3		
			UPSナシ ↑ リセット	リセット ↑ アウトレットM	アウトレットM 0008. 0s	
				M: 1,2,3		

I	II	III	IV	V	VI	VII
システムセッテイ ↓ レジ スタ	レジ スタ ↓ ネットワーク	ネットワーク ↓ IPアド レス	IPアド レス ↓ ジ キ	ジ キ 【 192, 168.	ジ キ 】 . 010, 001	
			IPアド レス ↓ ゲートウェイ	ゲートウェイ 【 192, 168.	ゲートウェイ 】 . 010, 000	
			IPアド レス ↓ DNS	DNS 【 000, 000.	DNS 】 . 000, 000	
			IPアド レス ↓ Bキャスト	Bキャスト 【 255, 255.	Bキャスト 】 . 255, 255	
			IPアド レス ↓ ネットマスク	ネットマスク 【 255, 255.	ネットマスク 】 . 255, 001	
		ネットワーク ↓ MSRP	MSRP ↓ キノウ	キノウ ↓ ON		
				キノウ ↓ OFF		
			MSRP ↓ CHGカンカク	CHGカンカク 0003, 0s		
			MSRP ↓ CHGカイスウ	CHGカイスウ 002回		
			MSRP ↓ カンカク	カンカク 0060, 0s		
			MSRP ↓ ポート	ポート 5000		
			MSRP ↓ アド レス	アド レス 【 000, 000.	アド レス 】 . 000, 000	
		ネットワーク ↓ WOLチャク	WOLチャク キノウ	キノウ ↓ ON	キノウ ↓ OFF	
		ネットワーク ↓ WOLソウシン	WOLソウシン ↓ アド レス	アド レス ↓ アウトレットM M: 1,23	アウトレットM 【 000, 000.	アウトレットM 】 000, 000.
			WOLソウシン ↓ カンカク	カンカク ↓ アウトレットM M: 1,23	アウトレットM 0010, 0s	
			WOLソウシン ↓ カイスウ	カイスウ ↓ アウトレットM M: 1,23	アウトレットM 00005	
		ネットワーク ↓ TELNET	TELNET ↓ キノウ	キノウ ↓ ON		
				キノウ ↓ OFF		
			TELNET ↓ ポートNo	ポートNo 00023		

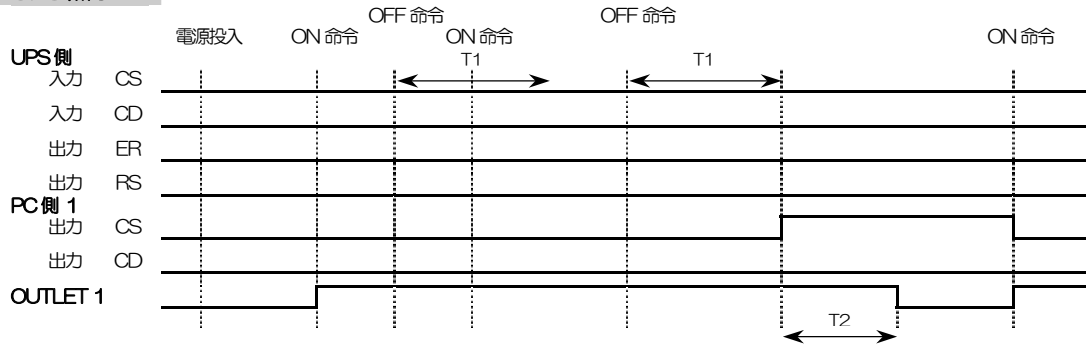
I	II	III	IV	V	VI	VII	VIII
システムセッテイ ↑ レジ スタ	レジ スタ ↑ ネットワーク	ネットワーク ↑ TELNET	TELNET ↑ キノウ	キノウ ↑ ON			
				キノウ ↑ OFF			
			TELNET ↑ ポートNo	ポートNo 00023			
		ネットワーク ↑ pingカイシ	pingカイシ ↑ カンカク	カンカク 0001. 0分	アウトレットM ↑ アド レスL	アド レスL【 000. 000.	アド レスL】 000. 000.
			pingカイシ ↑ アド レス	アド レス ↑ アウトレットM M: 1,2,3			
					アウトレットM 000回		
			pingカイシ ↑ BOOTシヨリ	BOOTシヨリ ↑ アウトレットM M: 1,2,3			
					アウトレットM 000回		
			pingカイシ ↑ BOOTタイキ	BOOTタイキ ↑ アウトレットM M: 1,2,3			
					アウトレットM ↑ DDDD	DDDD: PON POF POR MPON MPOF	
			pingカイシ ↑ トウウサ	トウウサ ↑ アウトレットM M: 1,2,3			
					アウトレットM 0002.0s		
			pingカイシ ↑ オウトウタイキ	オウトウタイキ ↑ アウトレットM M: 1,2,3			
					アウトレットM 004回		
			pingカイシ ↑ カイスウ	カイスウ ↑ アウトレットM M: 1,2,3			
					アウトレットM 000回		
			pingカイシ ↑ タイキカイスウ	タイキカイスウ ↑ アウトレットM M: 1,2,3			
					アウトレットM ↑ ON		
			pingカイシ ↑ ショウケン	ショウケン ↑ アウトレットM M: 1,2,3			
					アウトレットM ↑ OFF		
		ネットワーク ↑ HTTP	HTTP ↑ キノウ	キノウ ↑ ON			
				キノウ ↑ OFF			
			HTTP ↑ ポートNo	ポートNo 80			
		ネットワーク ↑ タイムサーバ	タイムサーバ ↑ キノウ	キノウ ↑ ON			
				キノウ ↑ OFF			
			タイムサーバ ↑ IPアド レス	IPアド レス【 000. 000.	IPアド レス 000. 000		

I	II	III	IV	V	VI
システムセッテイ ↑ レジ スタ	レジ スタ ↑ シリアル	シリアル ↑ パラメータ	パラメータ ↑ ソフト	ソフト ↑ 04800 EEEE 04800 09600 14400 19200 31250 38400 57600	
			パラメータ ↑ フロー	フロー ↑ Xセイギョ フロー ↑ Sセイギョ	
			パラメータ ↑ ストップ	ストップ 001	
			パラメータ ↑ パリティ	パリティ ↑ ON パリティ ↑ OFF	
			パラメータ ↑ データチョウ	データチョウ ↑ 008 データチョウ ↑ 007	
		シリアル ↑ シリアルTAP	シリアルTAP ↑ RINGスウ	RINGスウ 001回	
			シリアルTAP ↑ モデムモジ	モデムモジ ↑ ショキカモジ	ショキカモジ AT]
				モデムモジ ↑ セツダン	セツダン NO CAR▲ セツダン ▲RIER]
				モデムモジ ↑ コネクト	コネクト CONNEC▲ コネクト ▲T]
				モデムモジ ↑ RING	RING RING]
			シリアルTAP ↑ ERダン	ERダン 0008.0s	
			シリアルTAP ↑ ムツウシン	ムツウシン 005分	
	レジ スタ ↑ POWERト	POWERト シ ョウON			
システムセッテイ ↑ ニチジ	ヒツケ 2005/5/5				

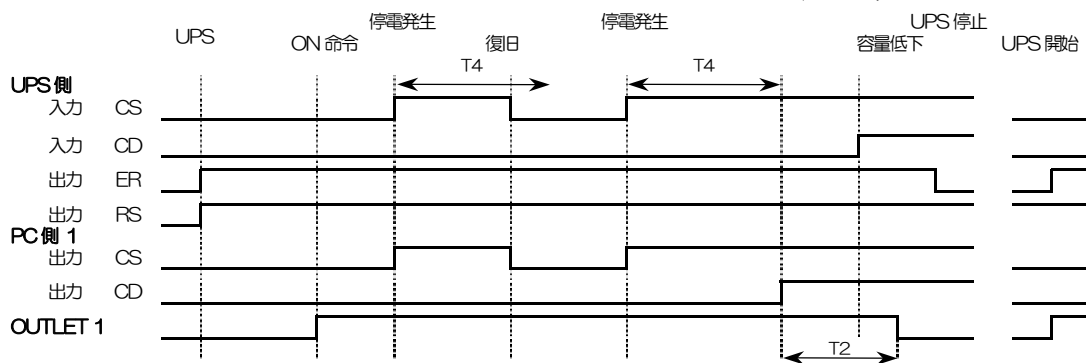
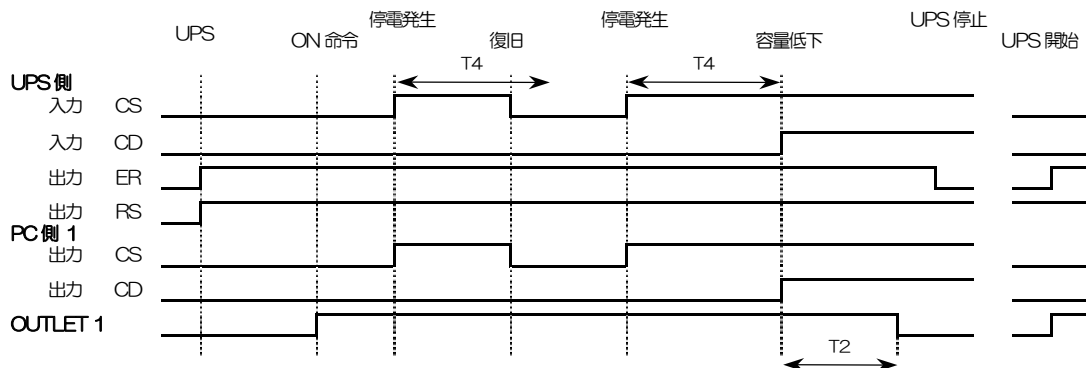
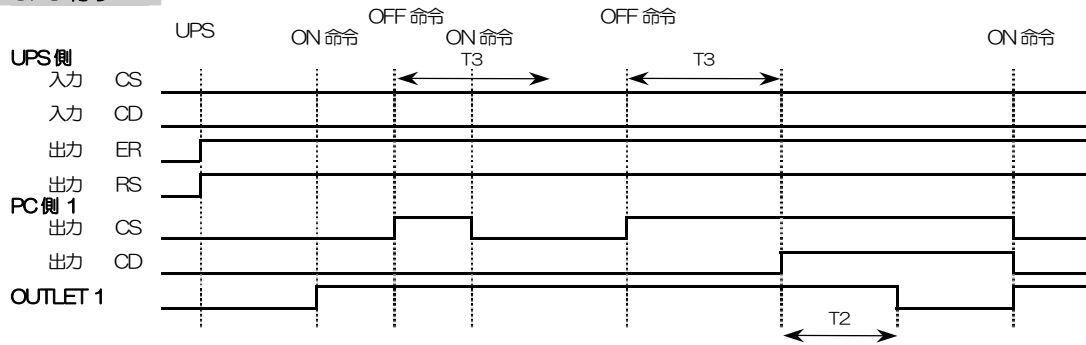
■タイムチャート

- T1 : OFF 遅延時間 1 (R36x)
T2 : シャットダウン時間 (R30x)
T3 : OFF 遅延時間 3 (R102x)
T4 : OFF 遅延時間 4 (R100x)

UPS無し



UPS有り



■仕様一覧

電源制御	LAN 制御	RPC コンダクタ
		TELNET サーバプログラム
	シリアル制御	ターミナルソフト
状態監視	動作制御	OUTLET タイマー ※1
	PING 監視機能	PING 送信
	異常判定機能	判定基準設定 ※2
	自動制御機能	異常判定連動機能
スケジュール制御	設定件数	200 件
	日付設定	年月日/曜日（毎週）/毎月/祝日
シャットダウン機能	電源障害信号出力	
Wakeup 機能	Wake On LAN 対応	（MAGIC PACKET 出力）
ロギング機能	最新 100 件メモリ	
セキュリティ	アクセスセキュリティ	（パスワード変更、入力回数、待機時間）
UPS 連携機能 ※3	停電/復電時連動電源制御	
インターフェース	10Base-T×1	（IEEE 802.3 に準拠）
	RS-232C×1	（Dsub9 ピンオス）
	RJ11×3	（シャットダウン I/F）
表示部	液晶表示	8 文字×2 行
	LED	本体電源×1, OUTLET×3, UPS 状態表示×2, 曜日表示×7, LAN 状態表示×2
電源出力	アウトレット数	3（2 極平行接地型）
	最大制御容量	1500W
消費電力	約 3.5 W	
使用電源	AC100V±10%（50/60Hz）	
外形寸法	70（W）×145（H）×220（D）	
重量	1.7 Kg	
使用環境	温度 5～40℃	
	湿度 20～85%（ただし結露なきこと）	
安全規格	特定電気用品認証品（電機用品安全法）	

※1 ON 遅延時間、OFF 遅延時間、シャットダウン時間、リセット時間で設定します。

※2 PING 待機回数、待機条件、応答待機時間で判定基準を設定します。

※3 UPS と接続する場合のケーブルは弊社もしくは各 UPS メーカーにご相談ください。

ご 注 意

- (1) 本書および製品の内容の一部または全部を無断で複写、複製することは禁じます。
- (2) 本書および製品の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書および製品の内容については、万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどお気づきの点がありましたら、ご連絡ください。
- (4) 本製品を運用した結果の影響については、(3) 項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- (5) 本製品がお客様により不当に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたりまたは弊社および弊社指定のもの以外の第三者により修理・変更されたこと等に起因して生じた障害などにつきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
- (6) 弊社指定以外のオプションを装着してトラブルが発生した場合には、責任を負いかねますのでご了承ください。

Windows95、Windows98、WindowsME、WindowsNT、Windows2000
WindowsXP は Microsoft Corporation の登録商標です。その他、記載の会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

ネットワーク スケジューラ

PT・LAN

PT-30L

取扱説明書

第 1.0 版

版權所有 明京電機株式会社

2005 年 7 月

明京電機株式会社

〒116-0012 東京都荒川区東尾久 4-27-2

TEL (03) 3810-5580 FAX (03) 3810-5546

URL : <http://www.meikyo.co.jp>

E-mail: info@meikyo.co.jp
